

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :01子どもと大人と地域が共に育つまちをつくります
- 施策 :01学びを支える環境づくり

事務事業名
通学路安全対策事業

指標名	通学路安全対策への満足度	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	188
指標の目標値	40.0%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	教育総務課
関係法令市条例等	東近江市立小学校遠距離通学者通学費補助金交付要綱			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針、東近江市通学路交通安全プログラム	作成者	池元 貴之
事務事業概要	児童生徒が安心して通学できるよう、スクールバスの運行管理や通学路関係事務を行います。					予算	会計名
						大事業コード	040000
						款項目	100102

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 スクールバスの運行、遠距離通学費補助 ・スクールバスの運行 能登川、永源寺地区で運行 ・スクールバスの運行管理業務委託 (長期継続契約) 令和4年5月1日～令和7年4月30日 ・遠距離通学費補助 公共交通機関の利用者を対象とし、年額24,200円(片道12,100円)を超える額を補助 2 通学路の安全対策 ・通学路等安全推進連絡会を年3回開催し、関係機関との連携を強化 ・関係機関合同での点検の実施 28箇所 ・危険箇所の改善・安全対策を実施 43箇所 3 スクールガード事業の展開 ・登録者数 3,440人 ・パトロールキャップ、ベスト、笛、横断旗の配布	1 スクールバスの運行、遠距離通学費補助 ・スクールバスの運行 ・公共交通機関を利用して通学 2 通学路の安全対策 ・通学路の安全点検 ・危険箇所の改善・安全対策 3 スクールガード事業の展開	1 スクールバスの運行、遠距離通学費補助 ・スクールバスの運行 ・公共交通機関を利用して通学 2 通学路の安全対策 ・通学路の安全点検 ・危険箇所の改善・安全対策 3 スクールガード事業の展開	1 スクールバスの運行、遠距離通学費補助 ・スクールバスの運行 ・公共交通機関を利用して通学 2 通学路の安全対策 ・通学路の安全点検 ・危険箇所の改善・安全対策 3 スクールガード事業の展開																							
指標の年度目標値	37.5%	38.4%	39.2%	40.0%																								
事業の優先度	B	B																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>11,032千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>366千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>97千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>10,569千円</td></tr> </table>	決算額	11,032千円	国庫支出金	0千円	県支出金	366千円	市債	0千円	その他	97千円	一般財源	10,569千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>12,922千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>464千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>798千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>11,660千円</td></tr> </table>	予算額	12,922千円	国庫支出金	0千円	県支出金	464千円	市債	0千円	その他	798千円	一般財源	11,660千円		
決算額	11,032千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	366千円																											
市債	0千円																											
その他	97千円																											
一般財源	10,569千円																											
予算額	12,922千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	464千円																											
市債	0千円																											
その他	798千円																											
一般財源	11,660千円																											
職員数/人件費	正 0.95人 会計任 0人 6,333千円	正 1人 会計任 0人 6,567千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2 33.8%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分			
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 通学路交通安全プログラムに基づき、通学路点検を実施し、危険箇所の改善が図れた。通学路安全推進連絡会を開催し、関係機関との連携を図っているが、安全対策についてさらなる連携強化が必要である。 令和4年4月から蒲生東小学校及び蒲生西小学校の遠距離通学児童について、通学バスの利用から公共交通機関の利用に変更した。遠距離通学における公共交通機関利用の更なる推進について協議が必要である。	<改善内容> 通学路交通安全プログラムに基づき関係機関と連携を強化し、通学路の安全対策及び整備の着実かつ効率的な促進を図る。通学バスの適正な運行による安全な児童通学手段の確保に取り組む。遠距離通学における公共交通機関利用の推進に取り組む。スクールガード活動による地域ぐるみの学校安全体制整備の推進に取り組む。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容		
			現状維持	○ 財源			
			見直して継続		拡大		
			拡大		現状	○	
			縮小		削減		
事業統合 手段見直		人員					
休止・廃止		拡大					
完了		現状	○				
		削減					

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :01子どもと大人と地域が共に育つまちをつくります
- **施策** :01学びを支える環境づくり

事務事業名
教育委員会運営事業

指標名	通学路安全対策への満足度	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	423
指標の目標値	40.0%	算出方法		○ 継続	ハード	担当課名	教育総務課
関係法令市条例等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、東近江市教育委員会議事運営に関する規則、東近江市教育委員会公告式規則、東近江市教育委員会表彰規程		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針			
事務事業概要	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めにより教育委員会を開催し、教育に関する諸施策を審議・決定しながら、市の教育行政を推進します。						
予算	会計名	一般会計					
	大事業コード	010000					
	款項目	100101					

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	1 総合教育会議の開催 第1回(6/29) ・小学校の英語教育について 第2回(12/16) ・東近江市立小中学生の学力 - 全国学力・学習状況調査結果より - ・学力向上に向けた取組 - 学校教育課と教育研究所の連携 -	1 総合教育会議の開催	1 総合教育会議の開催	1 総合教育会議の開催	1 総合教育会議の開催	1 総合教育会議の開催	1 総合教育会議の開催	
	2 教育委員会定例会・臨時会の開催 定例会12回、臨時会3回	2 教育委員会定例会・臨時会の開催	2 教育委員会定例会・臨時会の開催	2 教育委員会定例会・臨時会の開催	2 教育委員会定例会・臨時会の開催	2 教育委員会定例会・臨時会の開催	2 教育委員会定例会・臨時会の開催	
	3 教育委員研修・視察等の実施 滋賀県重点施策説明会兼市町委員研修 4/13 都市教育委員会連絡協議会等の会議 ・教育長及び及び教育部長合同会議 8/22、2/22 2回	3 教育委員研修・視察等の実施	3 教育委員研修・視察等の実施	3 教育委員研修・視察等の実施	3 教育委員研修・視察等の実施	3 教育委員研修・視察等の実施	3 教育委員研修・視察等の実施	
	4 教育委員会表彰、教育委員会感謝状贈呈の実施 教育委員会表彰 ・功労賞(個人5人、団体1団体) ・文化賞(個人8人) ・スポーツ賞(個人13人、団体2団体) 教育委員会感謝状贈呈 ・個人23人	4 教育委員会表彰、教育委員会感謝状贈呈の実施	4 教育委員会表彰、教育委員会感謝状贈呈の実施	4 教育委員会表彰、教育委員会感謝状贈呈の実施	4 教育委員会表彰、教育委員会感謝状贈呈の実施	4 教育委員会表彰、教育委員会感謝状贈呈の実施	4 教育委員会表彰、教育委員会感謝状贈呈の実施	
指標の年度目標値	37.5%	38.4%	39.2%	40.0%				
事業の優先度	B	B						
事業の財源	決算額 2,470千円	国庫支出金	0千円	予算額 3,334千円	国庫支出金	0千円		
		県支出金	0千円		県支出金	0千円		
		市債	0千円		市債	0千円		
		その他	0千円		その他	0千円		
		一般財源	2,470千円		一般財源	3,334千円		
職員数/人件費	正 0.95人 会計任 0人 6,779千円	正 1人 会計任 0人 7,069千円						

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	33.8%	令和05年度の改善の取り組み		Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 開かれた教育委員会を目指し、会議の傍聴、議事録の公開を積極的に行った。 総合教育会議を開催し、市長、教育委員等が蒲生西小学校を視察し、小学校の英語教育や学力向上に向けた取組について等の情報共有を行った。さらに情報や課題を共有する必要がある。		<改善内容> 総合教育会議において、教育施設等への視察、訪問を行い、教育委員の各種研修内容について、工夫し、更なる教育委員会の活性化に取り組む。 効果的な総合教育会議の開催により、市長と教育委員が情報や課題を共有し、教育施策の推進を図る。 感謝状贈呈者の把握に努め、教育振興を促進する。			事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容
			現状維持		○ 財源					
			見直しして継続		拡大		現状 ○			
			拡大		縮小		削減			
			事業統合		手段見直し		人員			
			休止・廃止		拡大		現状 ○			
		完了		削減						

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :01子どもと大人と地域が共に育つまちをつくります
- 施策 :01学びを支える環境づくり

指標名	通学路安全対策への満足度	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	424
指標の目標値	40.0%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	教育総務課
関係法令市条例等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、東近江市教育委員会服務規程、東近江市教育委員会衛生管理規則、PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	池元 貴之
事務事業概要	教育委員会全体の事業がスムーズに行えるよう、関係機関との調整を行います。					予算	会計名
事務事業名	教育総務管理事業			大事業コード		款項目	100102

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	1 教育委員会事務局の運営 ・適正な職員の人事・給料・服務・福利厚生等の管理 ・安全衛生点検の実施により、教育委員会職場の環境改善 ・教育委員会施設の火災保険 49件 3 市立学校通学区域再編 ・市立学校通学区域審議会の開催 4/20、6/1、6/15 3回 答申の提出 6/17	37.5%	38.4%	39.2%	40.0%			
(実績) Plan 1 Do 2	事業の優先度 B	事業の財源 決算額 5,841千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 5,841千円	事業の優先度 B	事業の財源 予算額 7,347千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 7,347千円				
職員数/人件費	正 2.15人 会計任 0人 12,753千円	正 2.5人 会計任 0人 14,240千円						

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価 | 令和05年度の改善の取り組み | 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	33.8%	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 安全衛生点検の実施により、教育委員会職場の環境改善を行った。 通学区域について、その適正化と良好な教育環境の構築に資するため設置された市立学校通学区域審議会からの答申を受け、通学区域の在り方等を検討し決定した。	<改善内容> 教育委員会職場の環境改善に取り組むため安全衛生、点検を行う。 計画の推進施策についての進捗・評価の実施。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
				現状維持 ○ 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直	財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減	
				休止・廃止		
				完了		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :02子どもが安全で快適な環境のもと学べるまちをつくりま
- 施策 :01教育環境の充実

事務事業名
中学校施設整備事業

指標名	学校施設長寿命化計画に基づく施設改修箇所数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	ソフト	事務事業コード	31
指標の目標値	8/8校	算出方法		○継続	○ハード	担当課名	教育総務課
関係法令 市条例等	-	関連計画	東近江市公立学校等施設整備計画、東近江市地域福祉計画			作成者	池元 貴之
事務事業概要	中学生・学校職員が安全で快適な環境で学習できるよう施設の改築、改修等を行います。					予算 会計名	一般会計
						大事業コード	030000
						款項目	100301

令和04年度 事務事業実績

令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																									
<p>1 増改築、大規模改修事業 (設計監理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖東中学校体育館天井改修設計 1,518千円 永源寺中学校大規模改修基本設計 1,947千円 <p>(工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 能登川中学校体育館照明更新 6,500千円 <p>(繰越明許)</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖東中学校武道場大規模改修監理 1,650千円 湖東中学校武道場大規模改修 69,693千円 <p>主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2</p>	<p>1 増改築、大規模改修事業 (設計監理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖東中学校体育館天井改修監理 永源寺中学校大規模改修設計 <p>(工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖東中学校体育館天井改修 朝桜中学校体育館照明更新 	<p>1 増改築、大規模改修事業 (設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な大規模改修等 <p>(工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な大規模改修等 	<p>1 増改築、大規模改修事業 (設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な大規模改修等 <p>(工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な大規模改修等 																									
指標の年度目標値	2/8校	5/8校	8/8校																									
事業の優先度	A	A	A																									
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>84,833千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>17,039千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>57,200千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>10,594千円</td></tr> </table>	決算額	84,833千円	国庫支出金	17,039千円	県支出金	0千円	市債	57,200千円	その他	0千円	一般財源	10,594千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>68,179千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>13,333千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>44,300千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5,000千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>5,546千円</td></tr> </table>	予算額	68,179千円	国庫支出金	13,333千円	県支出金	0千円	市債	44,300千円	その他	5,000千円	一般財源	5,546千円		
決算額	84,833千円																											
国庫支出金	17,039千円																											
県支出金	0千円																											
市債	57,200千円																											
その他	0千円																											
一般財源	10,594千円																											
予算額	68,179千円																											
国庫支出金	13,333千円																											
県支出金	0千円																											
市債	44,300千円																											
その他	5,000千円																											
一般財源	5,546千円																											
職員数/人件費	正 0.76人 会計任 0.01人 4,237千円	正 0.79人 会計任 0.01人 5,302千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	校舎31校 体育館31校	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																					
事務事業の改善内容	Check 3	<p><成果・課題></p> <p>計画どおり施設整備を行った。施設整備の水準等について検討する必要がある。</p>	<p><改善内容></p> <p>施設整備の水準や改修内容の見直しを行う。</p>	<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>財源</td> <td rowspan="6">学校長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行う。</td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td>拡大 ○</td> </tr> <tr> <td>拡大 ○</td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td>人員</td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td>拡大 ○</td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	財源	学校長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行う。	見直して継続	拡大 ○	拡大 ○	現状	縮小	削減	事業統合	人員	手段見直	拡大 ○	休止・廃止	現状		完了	削減	
事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																								
現状維持	財源	学校長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行う。																								
見直して継続	拡大 ○																									
拡大 ○	現状																									
縮小	削減																									
事業統合	人員																									
手段見直	拡大 ○																									
休止・廃止	現状																									
完了	削減																									

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :02子どもが安全で快適な環境のもと学べるまちをつくりま
す
- **施策** :01教育環境の充実

指標名	学校施設長寿命化計画に基づく施設改修箇所数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	329
指標の目標値	8/8校	算出方法		○ 継続	ハード	担当課名	教育総務課
関係法令 市条例等	学校教育法		関連計画				
事務事業概要	次代を担う子どもたちが、自らの個性を伸ばし「生きる力」を育む教育が行えるよう環境を整備するため、小学校施設の適正な維持管理を行います。						
事務事業名	小学校管理事業						
予算	会計名		一般会計				
	大業コード		020000				
	款項目		100201				

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
		1 小学校施設の維持管理(22校)	1 小学校施設の維持管理(22校)	1 小学校施設の維持管理(22校)	1 小学校施設の維持管理(22校)	1 小学校施設の維持管理(22校)	1 小学校施設の維持管理(22校)	1 小学校施設の維持管理(22校)
	2 学校保健特別対策事業 (感染症対策等の学校教育活動支援)	3 小学校管理備品の購入 ・施設用備品	3 小学校管理備品の購入 ・施設用備品	3 小学校管理備品の購入 ・施設用備品	3 小学校管理備品の購入 ・施設用備品	3 小学校管理備品の購入 ・施設用備品	3 小学校管理備品の購入 ・施設用備品	
Plan 1 (実績) Do 2								
指標の年度目標値	2/8校		5/8校		6/8校		8/8校	
事業の優先度	B		B					
事業の財源	決算額	国庫支出金 5,008千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 4,538千円 一般財源 297,143千円	予算額	国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 4,996千円 一般財源 314,040千円				
職員数/人件費	正 1.05人 会計任 0.33人	6,537千円	正 0.95人 会計任 0.33人	5,671千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	校舎31校 体育館31校	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 計画的な施設修繕を行った。 経費削減策を検討する必要がある。	<改善内容> 管理方法等経費削減の方法を検討する。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	
				現状維持	○ 財源		
				見直して継続		拡大	
				拡大		現状	○
				縮小		削減	
				事業統合 手段見直		人員	
				休止・廃止		拡大	
				完了		現状	○
						削減	

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :02子どもが安全で快適な環境のもと学べるまちをつくりま
- **施策** :01教育環境の充実

事務事業名
小学校施設整備事業

指標名	学校施設長寿命化計画に基づく施設改修箇所数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ 継続	ソフト	○ ハード	事務事業コード	330						
指標の目標値	8/8校	算出方法				東近江市公立学校等施設整備計画、東近江市地域福祉計画		担当課名	教育総務課						
関係法令市条例等	-							作成者	池元 貴之						
事務事業概要	小学生・学校職員が安全で快適な環境で学習できるよう施設の改築、改修等を行います。			関連計画				予算	<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td>一般会計</td> </tr> <tr> <td>大業コード</td> <td>030000</td> </tr> <tr> <td>款項目</td> <td>100201</td> </tr> </table>	会計名	一般会計	大業コード	030000	款項目	100201
会計名	一般会計														
大業コード	030000														
款項目	100201														

令和04年度 事務事業実績

令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度																																								
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	1 増改築、大規模改修事業 (工事) ・布引小学校通級指導教室改修 8,000千円 ・御園小学校体育館照明更新 6,886千円 ・箕作小学校体育館照明更新 5,907千円 ・五個荘小学校体育館照明更新 4,887千円 ・湖東第一小学校芝生化 4,659千円 ・蒲生北小学校放送設備改修 3,509千円	1 増改築、大規模改修事業 (設計) ・能登川南小学校大規模改修設計 (工事) ・市内2校体育館照明更新 ・校庭芝生化工事 ・八日市西小学校駐車場整備 ・八日市北小学校いろは教室新設に伴う改修	1 増改築、大規模改修事業 (設計) ・計画的な大規模改修等 (工事) ・計画的な大規模改修等	1 増改築、大規模改修事業 (設計) ・計画的な大規模改修等 (工事) ・計画的な大規模改修等	1 増改築、大規模改修事業 (設計) ・計画的な大規模改修等 (工事) ・計画的な大規模改修等	2/8校	5/8校	6/8校	8/8校																																					
	2/8校	5/8校	6/8校	8/8校																																										
事業の優先度	A		A		A		A																																							
事業の財源	<table border="1"> <tr> <td>決算額</td> <td>38,086千円</td> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>市債</td> <td>24,300千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>4,354千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>一般財源</td> <td>9,432千円</td> </tr> </table>	決算額	38,086千円	国庫支出金	0千円			県支出金	0千円			市債	24,300千円			その他	4,354千円			一般財源	9,432千円	<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>67,587千円</td> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>市債</td> <td>15,200千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>28,200千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>一般財源</td> <td>24,187千円</td> </tr> </table>	予算額	67,587千円	国庫支出金	0千円			県支出金	0千円			市債	15,200千円			その他	28,200千円			一般財源	24,187千円				
決算額	38,086千円	国庫支出金	0千円																																											
		県支出金	0千円																																											
		市債	24,300千円																																											
		その他	4,354千円																																											
		一般財源	9,432千円																																											
予算額	67,587千円	国庫支出金	0千円																																											
		県支出金	0千円																																											
		市債	15,200千円																																											
		その他	28,200千円																																											
		一般財源	24,187千円																																											
職員数/人件費	正 0.76人 会計任 0.02人 4,261千円	正 0.88人 会計任 0.02人 4,202千円																																												

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	校舎31校 体育館31校	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																																					
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 計画どおり施設整備を行った。施設整備等の水準と、通学区域編成を見定めた整備検討する必要がある。		<改善内容> 施設整備の水準や改修内容の見直しを行う。通学区域編成に伴う審議会の動向を見定めた学校施設の適正化と、良好な教育環境の構築に資するための整備調整を行う。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																																			
					<table border="1"> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td rowspan="2">財源</td> <td>拡大</td> <td>○</td> <td rowspan="4">学校長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行う。</td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td></td> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>○</td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> <td rowspan="2">人員</td> <td>拡大</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td></td> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	現状維持		財源	拡大	○	学校長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行う。	見直して継続		現状		拡大	○	削減		縮小				事業統合		人員	拡大	○	手段見直		現状		休止・廃止		削減		完了					
現状維持		財源	拡大	○	学校長寿命化計画に基づき、計画的な改修を行う。																																					
見直して継続			現状																																							
拡大	○	削減																																								
縮小																																										
事業統合		人員	拡大	○																																						
手段見直			現状																																							
休止・廃止		削減																																								
完了																																										

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :02子どもが安全で快適な環境のもと学べるまちをつくりまします
- 施策 :01教育環境の充実

指標名	学校施設長寿命化計画に基づく施設改修箇所数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	331
指標の目標値	8/8校	算出方法		○継続	ハード	担当課名	教育総務課
関係法令 市条例等	学校教育法	事務事業概要	次代を担う子どもたちが、自らの個性を伸ばし「生きる力」を育む教育が行えるよう環境を整備するため、中学校施設の適正な維持管理を行います。	関連計画		作成者	池元 貴之
事務事業名	中学校管理事業	予算	会計名	一般会計		大業コード	020000
			款項目	100301			

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	1 中学校施設の維持管理（9校） 2 学校保健特別対策事業 （感染症対策等の学校教育活動支援） 3 中学校管理備品の購入 ・施設用備品	2/8校		5/8校		6/8校		8/8校
指標の年度目標値 事業の優先度	B		B					
事業の財源	決算額	149,243千円	予算額	165,540千円				
	国庫支出金	2,061千円	国庫支出金	0千円				
	県支出金	0千円	県支出金	0千円				
	市債	0千円	市債	0千円				
	その他	2,726千円	その他	4,104千円				
	一般財源	144,456千円	一般財源	161,436千円				
職員数/人件費	正	0.93人	正	0.88人				
	会計任	0.14人	会計任	0.14人				
		5,124千円		4,632千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	校舎31校 体育館31校	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 計画的な施設修繕を行った。 経費削減策を検討する必要がある。	<改善内容> 管理方法等経費削減の方法を検討する。	事業の方向性 現状維持 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 削減 人員 拡大 現状 削減	事業の方向性と資源の配分の内容			

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :01子どもと大人と地域が共に育つまちをつくります
- 施策 :01学びを支える環境づくり

事務事業名 就学援助事業	指標名	通学路安全対策への満足度	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	7742
	指標の目標値	40.0%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
	関係法令 市条例等	東近江市就学援助費給付要綱、東近江市奨学金貸付条例、東近江市医学生奨学金貸付条例			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	栗田 一路
	事務事業概要	就学の支援が必要な児童生徒に対し就学の援助を行うほか、地域や社会に貢献できる人材を育成するため、経済的理由により就学困難な者に対して無利子で貸付を行います。					予算	会計名
							大事業コード	030000
							款項目	100102

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
		1 就学援助費の給付 ・要保護児童生徒援助費 小学校 4人 中学校 7人 ・準要保護児童生徒援助費 就学前 78人 小学校 598人 中学校349人 ・特別支援児童生徒援助費 小学校 285人 中学校 73人	2 奨学金及び医学奨学金の貸付 ・奨学金 新規 1人 継続 3人 ・医学奨学金 新規 0人 継続 4人	1 就学援助費の給付	2 奨学金及び医学奨学金の貸付	1 就学援助費の給付	2 奨学金及び医学奨学金の貸付	1 就学援助費の給付
指標の年度目標値	37.5%		38.4%		39.2%		40.0%	
事業の優先度	B		B					
事業の財源	決算額 88,762千円	国庫支出金	6,660千円	予算額 101,240千円	国庫支出金	8,225千円		
		県支出金	0千円		県支出金	0千円		
		市債	0千円		市債	0千円		
		その他	2,840千円		その他	2,300千円		
		一般財源	79,262千円		一般財源	90,715千円		
職員数/人件費	正 1人 会計任 0人	6,648千円	正 0.95人 会計任 0人	5,351千円				



令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	33.8%	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 東近江市就学援助費給付要綱に基づき、援助を行った。引き続き適正な支給に努める必要がある。奨学金について、条例に基づき審査を行い、貸付を行った。	<改善内容> 適正な審査、管理による就学援助費の支給及び奨学金の貸付に努める。	事業の方向性
			現状維持
			見直して継続
			拡大 縮小 事業統合 手段見直
休止・廃止	完了	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
		財源	令和6年度就学援助メニューが増えることによる増
		人員	
		拡大 現状 削減	
		拡大 現状 削減	

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :01児童・生徒の育成

事務事業名
学校保健事業

指標名	児童・生徒の不登校率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	87
指標の目標値	小学校0.80% 中学校3.21% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、感染症法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針)	作成者	栗田 一路
事務事業概要	学校保健に関する各種事業等を実施することにより、子どもたちの健やかな育ちを支援します。					予算 会計名	一般会計
						大事業コード	050000
						款項目	100102

令和04年度 事務事業実績

令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																									
<p>1 健康診断事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒健康診断 尿検査 9,597人(小・中学校) 心電図検査 3,094人(小1・小4・中1) 教職員健康診断 定期健康診断 673人 胃部検査 334人 就学時健康診断 内科健診 961人 歯科健診 961人 <p>2 学校保健会事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓・腎臓精密検査指導 口腔保健指導 飲料水・プール水質、教室照度、空気、ダニアレルゲン検査、揮発性有機化合物検査 学校保健研修会 <p>3 教職員ストレスチェック業務</p>	<p>1 健康診断事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒健康診断 尿検査 (小・中学校) 心電図検査 (小1・小4・中1) 教職員健康診断 定期健康診断 胃部検査 就学時健康診断 内科健診 歯科健診 <p>2 学校保健会事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓・腎臓精密検査指導 口腔保健指導 飲料水・プール水質、教室照度、空気、ダニアレルゲン検査、揮発性有機化合物検査 学校保健研修会 <p>3 教職員ストレスチェック業務</p> <p>4 AED更新(小学校)</p>	<p>1 健康診断事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒健康診断 尿検査 (小・中学校) 心電図検査 (小1・小4・中1) 教職員健康診断 定期健康診断 胃部検査 就学時健康診断 内科健診 歯科健診 <p>2 学校保健会事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓・腎臓精密検査指導 口腔保健指導 飲料水・プール水質、教室照度、空気、ダニアレルゲン検査、揮発性有機化合物検査 学校保健研修会 <p>3 教職員ストレスチェック業務</p> <p>4 AED更新(小学校)</p>	<p>1 健康診断事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒健康診断 尿検査 (小・中学校) 心電図検査 (小1・小4・中1) 教職員健康診断 定期健康診断 胃部検査 就学時健康診断 内科健診 歯科健診 <p>2 学校保健会事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓・腎臓精密検査指導 口腔保健指導 飲料水・プール水質、教室照度、空気、ダニアレルゲン検査 学校保健研修会 <p>3 教職員ストレスチェック業務</p> <p>4 AED更新(小学校)</p>																									
指標の年度目標値	小学校0.92% 中学校3.48%	小学校0.88% 中学校3.39%	小学校0.84% 中学校3.30%																									
事業の優先度	B	B	B																									
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>34,850千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>44千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>34,806千円</td></tr> </table>	決算額	34,850千円	国庫支出金	0千円	県支出金	44千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	34,806千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>46,013千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>44千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>45,969千円</td></tr> </table>	予算額	46,013千円	国庫支出金	0千円	県支出金	44千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	45,969千円		
決算額	34,850千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	44千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	34,806千円																											
予算額	46,013千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	44千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	45,969千円																											
職員数/人件費	正 1.1人 会計任 0人 6,422千円	正 1.05人 会計任 0人 6,137千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	小学校1.64% 中学校5.31%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																							
事務事業の改善内容	Check 3	<p><成果・課題></p> <p>心電図検査の未検者に対し、業者が再度学校に出向いて検査を実施した。教職員健康診断は、夏休業期間中に3会場を指定し、実施した。教職員健康診断において、体質的にバリウム検査が受けられない人がいるため、胃カメラ検査を受けられるようにした。(16名受検)長期欠席児童生徒の未受検者がいる。</p>	<p><改善内容></p> <p>児童生徒の心電図未受検者には、再度受検する機会を設ける。教職員健康診断において、体質的にバリウム検査が受けられない人には、引き続き胃カメラ検査を受けられるようにする。未受検者等については、受検できるよう学校と協力体制を整える。</p>	<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>○ 財源</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">見直して継続</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合 手段見直</td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完了</td> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	○ 財源		見直して継続	拡大		現状	○	削減		事業統合 手段見直	人員		休止・廃止	拡大		完了	現状	○	削減	
事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																										
現状維持	○ 財源																											
見直して継続	拡大																											
	現状		○																									
	削減																											
事業統合 手段見直	人員																											
休止・廃止	拡大																											
完了	現状	○																										
	削減																											

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :01児童・生徒の育成

事務事業名 学校災害補償事業	指標名	児童・生徒の不登校率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	4844
	指標の目標値	小学校0.80% 中学校3.21% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
	関係法令 市条例等	独立行政法人日本スポーツ振興センター法		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針		作成者	栗田 一路
	事務事業概要	学校管理下で発生した災害について医療費を給付します。					予算	会計名
						大事業コード	060000	
						款項目	100102	

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 学校災害補償事務 ・ボランティア指導者等傷害保険 ・ボランティア指導者等賠償保険 ・体験学習参加児童生徒賠償保険 ・日本スポーツ振興センター医療費給付事務 846件 ・「全国市長会」学校災害賠償保険 7件	1 学校災害補償事務 ・ボランティア指導者等傷害保険 ・ボランティア指導者等賠償保険 ・体験学習参加児童生徒賠償保険 ・日本スポーツ振興センター医療費給付事務 ・「全国市長会」学校災害賠償保険	1 学校災害補償事務 ・ボランティア指導者等傷害保険 ・ボランティア指導者等賠償保険 ・体験学習参加児童生徒賠償保険 ・日本スポーツ振興センター医療費給付事務 ・「全国市長会」学校災害賠償保険	1 学校災害補償事務 ・ボランティア指導者等傷害保険 ・ボランティア指導者等賠償保険 ・体験学習参加児童生徒賠償保険 ・日本スポーツ振興センター医療費給付事務 ・「全国市長会」学校災害賠償保険
指標の年度目標値	小学校0.92% 中学校3.48%	小学校0.88% 中学校3.39%	小学校0.84% 中学校3.30%	小学校0.80% 中学校3.21%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	9,938千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	3,917千円	
一般財源	6,021千円			
職員数/人件費	正 0.35人 会計任 0人 2,389千円	正 0.4人 会計任 0人 2,621千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価 | 令和05年度の改善の取り組み | 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績 Do 2	小学校1.64% 中学校5.31%	Action 4																																					
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 学校の管理下における災害等に対する補償に備えることができた。特に、損害賠償責任を問われる事例もあることから、引き続き賠償への備えを万全にすることが必要である。	<改善内容> 学校の管理下における災害等に対する補償に備え、請求があった場合は、速やかに対応する。特に、損害賠償責任を問われる事例も見られることから、保険に加入し賠償への備えを万全にする。	<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>○ 財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>人員</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	○ 財源		見直して継続		拡大	拡大		現状	縮小		削減	事業統合			手段見直			休止・廃止		人員			拡大			現状			削減	完了		
	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																																				
	現状維持	○ 財源																																					
	見直して継続		拡大																																				
拡大		現状																																					
縮小		削減																																					
事業統合																																							
手段見直																																							
休止・廃止		人員																																					
		拡大																																					
		現状																																					
		削減																																					
完了																																							

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :01児童・生徒の育成

指標名	児童・生徒の不登校率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	4872		
指標の目標値	小学校0.80% 中学校3.21% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課		
関係法令市条例等	-	事務事業概要		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	栗田 一路		
事務事業名	外国人児童生徒等教育支援事業					予算	<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td>一般会計</td> </tr> <tr> <td>大事業コード</td> <td>080000</td> </tr> <tr> <td>款項目</td> <td>100103</td> </tr> </table>	会計名	一般会計
会計名	一般会計								
大事業コード	080000								
款項目	100103								

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度		
	1 外国人児童生徒等教育支援事業 ・日本語指導を必要とする児童生徒への学習支援としてポルトガル語、スペイン語、タガログ語支援相談員を配置し、通訳、教科指導援助等を行う。 小学校 13校 中学校 7校 2 日本語初期指導教室 ・市立小中学校に在籍している日本語の初期指導が必要と認められる児童生徒に対し、学校教育に必要な初歩的・基礎的な生活指導及び日本語指導を含む適応指導を一定期間集中的に行う。 利用者 26人	1 外国人児童生徒等教育支援事業 ・日本語指導を必要とする児童生徒への学習支援としてポルトガル語、スペイン語、タガログ語支援相談員を配置し、通訳、教科指導援助等を行う。 2 日本語初期指導教室 ・市立小中学校に在籍している日本語の初期指導が必要と認められる児童生徒に対し、学校教育に必要な初歩的・基礎的な生活指導及び日本語指導を含む適応指導を一定期間集中的に行う。	1 外国人児童生徒等教育支援事業 ・日本語指導を必要とする児童生徒への学習支援としてポルトガル語、スペイン語、タガログ語支援相談員を配置し、通訳、教科指導援助等を行う。 2 日本語初期指導教室 ・市立小中学校に在籍している日本語の初期指導が必要と認められる児童生徒に対し、学校教育に必要な初歩的・基礎的な生活指導及び日本語指導を含む適応指導を一定期間集中的に行う。	1 外国人児童生徒等教育支援事業 ・日本語指導を必要とする児童生徒への学習支援としてポルトガル語、スペイン語、タガログ語支援相談員を配置し、通訳、教科指導援助等を行う。 2 日本語初期指導教室 ・市立小中学校に在籍している日本語の初期指導が必要と認められる児童生徒に対し、学校教育に必要な初歩的・基礎的な生活指導及び日本語指導を含む適応指導を一定期間集中的に行う。		
指標の年度目標値	小学校0.92% 中学校3.48%	小学校0.88% 中学校3.39%	小学校0.84% 中学校3.30%	小学校0.80% 中学校3.21%		
事業の優先度	A					
事業の財源	決算額 13,845千円	国庫支出金	0千円	予算額 16,610千円	国庫支出金	0千円
		県支出金	0千円		県支出金	0千円
		市債	0千円		市債	0千円
		その他	0千円		その他	0千円
		一般財源	13,845千円		一般財源	16,610千円
職員数/人件費	正 0.5人 会計任 4.62人 14,879千円	正 0.5人 会計任 5.79人 18,220千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
小学校1.64% 中学校5.31%		<改善内容> 日本語の初期指導が必要と認められる児童生徒に対し、学校教育に必要な初歩的・基礎的な生活指導及び日本語指導を含む適応指導を一定期間集中的に行う。また、令和5年度は日本語初期指導教室を増室し、より多くの児童生徒の対応ができるようにする。通訳の言語に係る課題や指導員の活用についての検討を行う。		事業の方向性 現状維持 見直して継続 拡大 ○ 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 ○ 現状 削減 人員 拡大 ○ 現状 削減	事業の方向性と資源の配分の内容 令和6年度 外国人児童・生徒等支援業務委託料(1名増員)の増
事務事業の改善内容	<成果・課題> 外国人児童生徒等支援相談員を支援対象児童生徒の在籍する学校へ派遣し、通訳、教科指導援助等を行った。日本語の初期指導が必要であるが受入人数に限りがあるため、より多くの児童、生徒を受入れる体制づくりが必要である。					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくりま
- 施策 :01児童・生徒の育成

指標名	児童・生徒の不登校率	指標	成果指標一覧のとおり	<input type="radio"/> 新規	<input type="radio"/> ソフト	事務事業コード	7622
指標の目標値	小学校0.80% 中学校3.21% 目標年(令和07年度)	算出方法		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> ハード	担当課名	学校教育課
関係法令市条例等	東近江市教育振興事業補助金交付要綱			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	栗田 一路
事務事業概要	次代を担う人材を育成するため、水泳・陸上記録会や森林環境学習、平和学習へ支援を行うことにより、豊かな体験活動の充実を努め、より質の高い教育活動を推進します。					予算	会計名
事務事業名	小学校体験活動等支援事業			大事業コード		款項目	030000 100202

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 校外活動等への補助 (全22校) 2 市内水泳・陸上記録会への補助 水泳・陸上記録会中止 3 森林環境学習「やまのこ」事業 4年生 1,049人参加 4 平和学習支援事業 6年生 1,154人参加	1 校外活動等への補助 (全22校) 2 市内陸上記録会への補助 3 森林環境学習「やまのこ」事業 4 平和学習支援事業	1 校外活動等への補助 (全22校) 2 市内陸上記録会への補助 3 森林環境学習「やまのこ」事業 4 平和学習支援事業	1 校外活動等への補助 (全22校) 2 市内陸上記録会への補助 3 森林環境学習「やまのこ」事業 4 平和学習支援事業																							
指標の年度目標値	小学校0.92% 中学校3.48%	小学校0.88% 中学校3.39%	小学校0.84% 中学校3.30%	小学校0.80% 中学校3.21%																								
事業の優先度	-	-																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>17,877千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>2,218千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>15,659千円</td></tr> </table>	決算額	17,877千円	国庫支出金	0千円	県支出金	2,218千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	15,659千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>19,339千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>2,263千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>17,076千円</td></tr> </table>	予算額	19,339千円	国庫支出金	0千円	県支出金	2,263千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	17,076千円		
決算額	17,877千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	2,218千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	15,659千円																											
予算額	19,339千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	2,263千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	17,076千円																											
職員数/人件費	正 0.4人 会計任 0人 2,509千円	正 0.4人 会計任 0人 2,643千円																										



令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2 小学校1.64% 中学校5.31%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																											
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> コロナ禍で、校外活動補助金に加え、バスの増便支援ができた。 市内水泳・陸上記録会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	<改善内容> 新型コロナウイルス感染症に対する方針の変更に伴い、バスの増便支援について終了するが、引き続き体験活動等への支援を行い教育活動の充実を図る。	<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td><input type="radio"/> 財源</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">見直して継続</td> <td>拡大</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td rowspan="2">人員</td> <td>拡大</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td>現状</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>削減</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	<input type="radio"/> 財源		見直して継続	拡大	<input type="checkbox"/>	現状	<input checked="" type="checkbox"/>	縮小	<input type="checkbox"/>	事業統合	人員	拡大	<input type="checkbox"/>	手段見直	現状	<input checked="" type="checkbox"/>	休止・廃止		削減	<input type="checkbox"/>	完了			
				事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																									
				現状維持	<input type="radio"/> 財源																										
				見直して継続	拡大		<input type="checkbox"/>																								
					現状		<input checked="" type="checkbox"/>																								
縮小	<input type="checkbox"/>																														
事業統合	人員	拡大	<input type="checkbox"/>																												
手段見直		現状	<input checked="" type="checkbox"/>																												
休止・廃止		削減	<input type="checkbox"/>																												
完了																															

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくりまします
- 施策 :01児童・生徒の育成

事務事業名
中学校体験活動等支援事業

指標名	児童・生徒の不登校率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	ソフト	事務事業コード	7630
指標の目標値	小学校0.80% 中学校3.21% 目標年(令和07年度)	算出方法		継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	東近江市教育振興事業補助金交付要綱		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針		作成者	栗田 一路
事務事業概要	次代を担う人材を育成するため、校外活動や生徒会・部活動へ支援を行うことにより、豊かな体験活動の充実に努め、より質の高い教育活動を推進します。					会計名	一般会計
						大業コード	030000
						款項目	100302

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 校外活動等への補助 (全9校) 2 生徒会・部活動への補助 (全9校) 3 全国大会出場者への激励 5回 5部活動	1 校外活動等への補助 (全9校) 2 生徒会・部活動への補助 (全9校) 3 全国大会出場者への激励 4 中学校チャレンジウィーク事業 5 東近江市立中学校部活動のあり方及び地域連携検討協議会	1 校外活動等への補助 (全9校) 2 生徒会・部活動への補助 (全9校) 3 全国大会出場者への激励 4 中学校チャレンジウィーク事業 5 東近江市立中学校部活動あり方及び地域連携検討協議会	1 校外活動等への補助 (全9校) 2 生徒会・部活動への補助 (全9校) 3 全国大会出場者への激励 4 中学校チャレンジウィーク事業 5 東近江市立中学校部活動あり方及び地域連携検討協議会																							
指標の年度目標値	小学校0.92% 中学校3.48%	小学校0.88% 中学校3.39%	小学校0.84% 中学校3.30%	小学校0.80% 中学校3.21%																								
事業の優先度	-	-	-	-																								
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>17,220千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>17,220千円</td></tr> </table>	決算額	17,220千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	17,220千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>17,495千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>73千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>943千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>16,479千円</td></tr> </table>	予算額	17,495千円	国庫支出金	73千円	県支出金	943千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	16,479千円		
決算額	17,220千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	17,220千円																											
予算額	17,495千円																											
国庫支出金	73千円																											
県支出金	943千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	16,479千円																											
職員数/人件費	正 0.3人 会計任 0人 2,147千円	正 0.2人 会計任 0人 1,607千円																										



令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
指標の年度実績	小学校1.64% 中学校5.31%	<p><改善内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症に対する方針の変更に伴い、バスの増便支援については終了するが、引き続き、体験活動等への支援を行い、教育活動の充実に努める。また、中学校部活動のあり方及び地域連携検討協議会を先取り、持続可能な部活動のあり方や地域との連携について検討する。</p>	<p>事業の方向性</p> <p>現状維持 ○</p> <p>見直して継続</p> <p>拡大</p> <p>縮小</p> <p>事業統合</p> <p>手段見直</p> <p>休止・廃止</p> <p>完了</p>	<p>資源(財源・人)の配分</p> <p>財源</p> <p>拡大</p> <p>現状 ○</p> <p>削減</p> <p>人員</p> <p>拡大</p> <p>現状 ○</p> <p>削減</p>
事務事業の改善内容	<p><成果・課題></p> <p>コロナ禍で校外活動補助金に加え、バスの増便支援ができた。また、生徒が将来に亘り持続可能で多様なスポーツ及び文化芸術に親しむことができるよう部活動のあり方等を検討する必要がある。</p>			事業の方向性と資源の配分の内容
	Check 3			

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :02教育内容の充実

事務事業名
小学校教育振興事業

指標名	児童・生徒の読書冊数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	34
指標の目標値	小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	子ども読書活動の推進に関する法律、東近江市立学校評議員要綱、東近江市教育振興事業補助金交付要綱	関連計画		東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針			
事務事業概要	次代を担う人材を育成するため、教育用の機械器具や学校図書蔵書の充実に努めるとともに、体的活動への支援を行うことにより、より質の高い教育活動を推進します。						
予算		会計名	一般会計				
大事業コード	010000						
款項目	100202						

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度		
		1 学校評議員 ・学校運営への提言、助言等 評議員 93名 2 学校運営協議会 ・学校運営への参画、支援等 学校運営協議会委員 32名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 5 教科書、指導書、指導教材の購入 小学校 22校 いろは教室 6 読書活動の推進 7 体力づくりの推進	1 学校評議員 ・学校運営への提言、助言等 評議員 83名 2 学校運営協議会 ・学校運営への参画、支援等 学校運営協議会委員 37名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 5 教科書、指導書、指導教材の購入 6 読書活動の推進 7 体力づくりの推進	1 学校評議員 ・学校運営への提言、助言等 評議員 80名 2 学校運営協議会 ・学校運営への参画、支援等 学校運営協議会委員 60名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 5 教科書、指導書、指導教材の購入 6 読書活動の推進 7 体力づくりの推進	1 学校評議員 ・学校運営への提言、助言等 評議員 75名 2 学校運営協議会 ・学校運営への参画、支援等 学校運営協議会委員 70名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 5 教科書、指導書、指導教材の購入 6 読書活動の推進 7 体力づくりの推進	
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊		
事業の優先度	B					
事業の財源	決算額 45,661千円	国庫支出金	705千円	予算額 87,955千円	国庫支出金	725千円
		県支出金	0千円		県支出金	0千円
		市債	0千円		市債	0千円
		その他	11,660千円		その他	7,660千円
		一般財源	33,296千円		一般財源	79,570千円
職員数/人件費	正 1.8人 会計任 53.32人 139,978千円	正 1.7人 会計任 52.58人 143,237千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	小学校8.5冊 中学校3.2冊	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分	
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 学校司書を派遣したことで、児童生徒1人当たりの読書冊数が安定してきた。学校図書館図書標準に達している学校数が増えており、国語科をはじめ授業で活用されているが、刊行後時間が経過した図書の買替えが必要である。		<改善内容> 国の学校図書館図書整備等5か年計画に基づき蔵書の充実を図る。特に、教科書等で学習内容を把握し授業で活用できる図書を増やす。また、公立図書館との連携を強化するとともに、学校図書館の学習センターとして機能の充実を推進する。新たな図書の整備に加え、古くなった図書の買替えを進める。		事業の方向性 現状維持 見直しして継続 拡大 ○ 縮小 事業統合 手段見直し 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 ○ 現状 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減
					事業の方向性と資源の配分の内容 令和6年 教科書改訂に伴う増	

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- **施策** :02教育内容の充実

事務事業名
 中学校教育振興事業

指標名	児童・生徒の読書冊数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	35		
指標の目標値	小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年（令和07年度）	算出方法		○ 継続	ハード	担当課名	学校教育課		
関係法令市条例等	子ども読書活動の推進に関する法律、東近江市立学校評議員要綱、東近江市教育振興事業補助金交付要綱	事務事業概要	次代を担う人材を育成するため、職場体験活動へ支援を行うことにより、豊かな体験や望ましい職業観の育成を図るとともに、学校図書蔵書の充実にも努めることにより、より質の高い教育活動を推進します。	関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	栗田 一路		
						予算	<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td>一般会計</td> </tr> <tr> <td>大業コード</td> <td>010000</td> </tr> <tr> <td>款項目</td> <td>100302</td> </tr> </table>	会計名	一般会計
会計名	一般会計								
大業コード	010000								
款項目	100302								

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 学校評議員会 ・学校運営への提言、助言等 評議員 42名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 5 中学生チャレンジウィーク事業 ・2年生が地域の事業所で3-5日間の職場体験 6 教科書、指導書、指導教材の購入 7 読書活動の推進	1 学校評議員会 ・学校運営への提言、助言等 評議員 37名 2 学校運営協議会 ・学校運営への参画、支援等 学校運営協議会委員 10名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 6 教科書、指導書、指導教材の購入 7 読書活動の推進	1 学校評議員会 ・学校運営への提言、助言等 評議員 35名 2 学校運営協議会 ・学校運営への参画、支援等 学校運営協議会委員 20名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 6 教科書、指導書、指導教材の購入 7 読書活動の推進	1 学校評議員会 ・学校運営への提言、助言等 評議員 30名 2 学校運営協議会 ・学校運営への参画、支援等 学校運営協議会委員 30名 3 教育用機械器具の購入 4 学校図書の購入 6 教科書、指導書、指導教材の購入 7 読書活動の推進																							
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊																								
事業の優先度	B	B																										
事業の財源	<table border="1"> <tr> <td>決算額</td> <td>21,662千円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>489千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>785千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,900千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>13,488千円</td> </tr> </table>	決算額	21,662千円	国庫支出金	489千円	県支出金	785千円	市債	0千円	その他	6,900千円	一般財源	13,488千円	<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>25,129千円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>600千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7,300千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>17,229千円</td> </tr> </table>	予算額	25,129千円	国庫支出金	600千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	7,300千円	一般財源	17,229千円		
決算額	21,662千円																											
国庫支出金	489千円																											
県支出金	785千円																											
市債	0千円																											
その他	6,900千円																											
一般財源	13,488千円																											
予算額	25,129千円																											
国庫支出金	600千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	7,300千円																											
一般財源	17,229千円																											
職員数/人件費	正 1.7人 会計任 12.42人 41,450千円	正 1.65人 会計任 14.64人 47,879千円																										



令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	小学校8.5冊 中学校3.2冊	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																										
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 中学校専属の学校司書の派遣により、学校図書館の環境整備が進んだ。 今後は一層の充実を図るために、教職員との連携を図り、授業での利活用を進める必要がある。 中学生チャレンジウィーク事業は、コロナ禍で職場体験ができた学校は5校であった。	<改善内容> 国の学校図書館図書整備等5か年計画に基づき蔵書の充実を図る。 教職員との連携を密にし、学校図書館の実態に応じた選書、環境整備を推進する。 学校司書の市立全中学校への派遣を継続して整える。 蔵書数は満たされてきたので、基準にそって蔵書管理、整理を実施する。	<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>財源</td> <td rowspan="2">令和6年度から令和7年度 教科書改訂準備による増</td> </tr> <tr> <td>見直しして継続</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>人員</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	財源	令和6年度から令和7年度 教科書改訂準備による増	見直しして継続	<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	拡大	○	現状		削減		休止・廃止	人員	<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	拡大		現状	○	削減		完了		
			事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																								
現状維持	財源	令和6年度から令和7年度 教科書改訂準備による増																											
見直しして継続	<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>		拡大	○	現状		削減																						
拡大	○																												
現状																													
削減																													
休止・廃止	人員	<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	拡大		現状	○	削減																						
拡大																													
現状	○																												
削減																													
完了																													

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :02教育内容の充実

指標名	児童・生徒の読書冊数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	<input type="radio"/> ソフト	事務事業コード	196	
指標の目標値	小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年（ 令和07年度 ）	算出方法		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> ハード	担当課名	学校教育課	
関係法令市条例等	—	関連計画		東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針				
事務事業概要	「三方よし」の理念を基に、各校園の特色ある教育活動の推進を図るとともに、学力向上の取組、人権教育に関する各種研究会や指定校研究の実施及び外国人生徒への支援に関する事業等を実施することにより、児童・生徒の人権意識の高揚を図るとともに、次代を担う個性と創造性豊かで活力に満ちた人材を育成します。							
事務事業名	豊かな情操育成事業							
作成者	栗田 一路	予算	会計名	一般会計	大事業コード	030000	款項目	100103

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 子ども芸術展事業 ・美術、書写教育の振興や芸術性向上 作品数 1,084点 来場者数 3,538人 2 学びの礎ネットワーク推進事業 ・学校における人権教育の推進を図る。 ・滋賀県人権教育研究大会（東近江大会） 10月22日 10日23日 3 食育指導推進事業 ・栄養教諭、養護教諭等による食育授業の実施	1 子ども芸術展事業 ・美術、書写教育の振興や芸術性向上 2 生きぬく力の礎育み事業 ・学校における人権教育の推進を図る。 3 食育指導推進事業 ・栄養教諭、栄養職員、養護教諭等による食育（生活習慣病予防）授業の実施	1 子ども芸術展事業 ・美術、書写教育の振興や芸術性向上 2 生きぬく力の礎育み事業 ・学校における人権教育の推進を図る。 3 食育指導推進事業 ・栄養教諭、栄養職員、養護教諭等による食育（生活習慣病予防）授業の実施	1 子ども芸術展事業 ・美術、書写教育の振興や芸術性向上 2 生きぬく力の礎育み事業 ・学校における人権教育の推進を図る。 3 食育指導推進事業 ・栄養教諭、栄養職員、養護教諭等による食育（生活習慣病予防）授業の実施																							
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊																								
事業の優先度	A	A																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>2,391千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>264千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,127千円</td></tr> </table>	決算額	2,391千円	国庫支出金	0千円	県支出金	264千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,127千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>1,327千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>264千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,063千円</td></tr> </table>	予算額	1,327千円	国庫支出金	0千円	県支出金	264千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,063千円		
決算額	2,391千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	264千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	2,127千円																											
予算額	1,327千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	264千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	1,063千円																											
職員数/人件費	正 0.7人 会計任 3.07人 12,329千円	正 0.8人 会計任 2.59人 12,032千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2 小学校8.5冊 中学校3.2冊	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																																					
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 子ども芸術展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場、出品数、展示場所等対策を講じて予定どおり実施することができた。しかし、立体作品については、会場等の関連で展示できなかった。子ども芸術展での総出品数954点、来場者数延べ3,538人であった。	<改善内容> より多くの人に来場してもらうため、また立体作品が展示できるよう、開館時間や会場を検討する。出品数に応じて、作品展示内容を検討していく。	<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th colspan="2">事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td rowspan="2">○ 財源</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td rowspan="2">人員</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容		現状維持	○ 財源	拡大		見直して継続	現状	○	拡大		削減		縮小				事業統合	人員	拡大		手段見直	現状	○	休止・廃止		削減		完了							
				事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																																			
				現状維持	○ 財源	拡大																																			
				見直して継続		現状	○																																		
				拡大		削減																																			
縮小																																									
事業統合	人員	拡大																																							
手段見直		現状	○																																						
休止・廃止		削減																																							
完了																																									

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- **施策** :02教育内容の充実

指標名	児童・生徒の読書冊数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	4835
指標の目標値	小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年（ 令和07年度 ）	算出方法		○ 継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令市条例等	-			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	栗田 一路
事務事業概要	学習指導要領の改訂に向けて、小中のつながりを深め、外国語教育の充実を図ります。					予算	会計名
事務事業名	英語教育振興事業			大事業コード		款項目	070000 100102

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 ALT (外国語指導助手) の配置 ・中学校 9校に 9人のALT ・小学校22校に11人のALT 2 イングリッシュ・デイの開催 ・年3回実施 (小学生対象2回、中学生対象1回) 小学生対象 10月 69人 (2回) 中学生対象 11月 15人 (1回) 3 教員語学指導力向上事業 ・研修会、授業研究会の実施	1 ALT (外国語指導助手) の配置 ・中学校 9校に 9人のALT ・小学校22校に11人のALT 2 イングリッシュ・デイの開催 ・年3回実施 (小学生対象2回、中学生対象1回) 3 教員語学指導力向上事業 ・研修会、授業研究会の実施	1 ALT (外国語指導助手) の配置 ・中学校 9校に 9人のALT ・小学校22校に11人のALT 2 イングリッシュ・デイの開催 ・年3回実施 (小学生対象2回、中学生対象1回) 3 教員語学指導力向上事業 ・研修会、授業研究会の実施	1 ALT (外国語指導助手) の配置 ・中学校 9校に 9人のALT ・小学校22校に11人のALT 2 イングリッシュ・デイの開催 ・年3回実施 (小学生対象2回、中学生対象1回) 3 教員語学指導力向上事業 ・研修会、授業研究会の実施																							
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊																								
事業の優先度	A	A																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>55,259千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>51,237千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,022千円</td></tr> </table>	決算額	55,259千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	51,237千円	一般財源	4,022千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>59,045千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>50,000千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>9,045千円</td></tr> </table>	予算額	59,045千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	50,000千円	一般財源	9,045千円		
決算額	55,259千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	51,237千円																											
一般財源	4,022千円																											
予算額	59,045千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	50,000千円																											
一般財源	9,045千円																											
職員数/人件費	正 0.5人 会計任 6.93人 19,634千円	正 0.55人 会計任 6.34人 19,074千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	小学校8.5冊 中学校3.2冊	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																															
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> ALTを中学校9校各校に1人配置、また、小学校ALT11人を各小学校へ派遣することで、児童生徒の英語力の向上に努めた。イングリッシュ・デイでは、小学生・中学生ともに多くの参加があり、英語に対して興味関心の高いことが伺えた。今後も引き続き、小中学校教員の英語力・指導力を向上する必要がある。		<改善内容> イングリッシュ・デイは、内容を工夫しながら複数回実施できるようにする。教員向けの研修会の機会を確保し、教員の英語力及び指導力の向上を図る。ALTの指導力向上を図るため、月1回の研修を充実させる。		事業の方向性																															
					資源(財源・人)の配分																															
					事業の方向性と資源の配分の内容																															
					令和6年度契約更新に伴う増額																															
				<table border="1"> <tr> <td>現状維持</td> <td>財源</td> <td>拡大</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td></td> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>○</td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	現状維持	財源	拡大	○	見直して継続		現状		拡大	○	削減		縮小				事業統合		人員		手段見直		拡大		休止・廃止		現状	○	完了		削減	
現状維持	財源	拡大	○																																	
見直して継続		現状																																		
拡大	○	削減																																		
縮小																																				
事業統合		人員																																		
手段見直		拡大																																		
休止・廃止		現状	○																																	
完了		削減																																		

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :02教育内容の充実

事務事業名
教育指導力向上事業

指標名	児童・生徒の読書冊数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	<input type="radio"/> ソフト	事務事業コード	4860
指標の目標値	小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年（令和07年度）	算出方法		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> ハード	担当課名	学校教育課
関係法令市条例等	-		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針		作成者	栗田 一路
事務事業概要	「三方よし」の理念を基に各校園の特色ある教育活動の推進を図るとともに、授業改善に積極的に取り組むことで、児童生徒の学力の向上を図る教育を推進します。			予算	会計名	一般会計	
					大事業コード	010000	
					款項目	100103	

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																				
	1 授業改善に向けての指定研修・研究 ・市指定事業授業研究会（3回） ・校内研究主任会（3回） 2 個に応じた学習指導員の配置 ・個に応じた学習指導員（教員0B）の配置 3人 3 理科観察・実験アシスタントの配置 ・5名の支援員を市立小中学校へ派遣	1 授業改善に向けての指定研修・研究 ・市指定事業授業研究会（3回） ・校内研究主任会（3回） 2 個に応じた学習指導員の配置 ・個に応じた学習指導員（教員0B）の配置 3人 3 理科観察・実験アシスタントの配置 ・5名の支援員を市立小中学校へ派遣	1 授業改善に向けての指定研修・研究 ・市指定事業授業研究会（3回） ・校内研究主任会（3回） 2 個に応じた学習指導員の配置 ・個に応じた学習指導員（教員0B）の配置 3人 3 理科観察・実験アシスタントの配置 ・5名の支援員を市立小中学校へ派遣	1 授業改善に向けての指定研修・研究 ・市指定事業授業研究会（3回） ・校内研究主任会（3回） 2 個に応じた学習指導員の配置 ・個に応じた学習指導員（教員0B）の配置 3人 3 理科観察・実験アシスタントの配置 ・5名の支援員を市立小中学校へ派遣	1 授業改善に向けての指定研修・研究 ・市指定事業授業研究会（3回） ・校内研究主任会（3回） 2 個に応じた学習指導員の配置 ・個に応じた学習指導員（教員0B）の配置 3人 3 理科観察・実験アシスタントの配置 ・5名の支援員を市立小中学校へ派遣																			
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊																				
事業の優先度	A																							
事業の財源	決算額 1,568千円	予算額 1,944千円																						
	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>429千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>16千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,123千円</td></tr> </table>	国庫支出金	429千円	県支出金	16千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,123千円	<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td>433千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>15千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,496千円</td></tr> </table>	国庫支出金	433千円	県支出金	15千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,496千円		
国庫支出金	429千円																							
県支出金	16千円																							
市債	0千円																							
その他	0千円																							
一般財源	1,123千円																							
国庫支出金	433千円																							
県支出金	15千円																							
市債	0千円																							
その他	0千円																							
一般財源	1,496千円																							
職員数/人件費	正 2.05人 会計任 28.21人 80,418千円	正 3.4人 会計任 28.06人 89,824千円																						

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																																					
	小学校8.5冊 中学校3.2冊			事業の方向性	資源(財源・人)の配分																																				
事務事業の改善内容	<成果・課題> 学力向上プランに基づいた授業実践を行うことが定着しつつあるが、育成をめざす資質能力を意識した授業づくりに課題がある。またICTを効果的に活用した授業展開については、研究の余地がある。理科観察、実験アシスタントが配置された学校では準備や後片付け、準備室の整備が進められ、安心安全に観察実験ができた。	<改善内容> 学力向上プランを意識した授業づくりについて、指導主事による「三方よし学校訪問」において指導助言を行い、教員の指導力向上を図る。また、校内研究主任会を実施し、校内での授業研究の活性化を図る。引き続き、理科観察、実験アシスタントを有効に活用できる学校へ計画的に配置する。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業の方向性</th> <th colspan="2">資源(財源・人)の配分</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td><input type="radio"/></td> <td>財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td>現状</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>現状</td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		現状維持	<input type="radio"/>	財源		見直して継続		拡大		拡大		現状	<input type="radio"/>	縮小		削減		事業統合		人員		手段見直		拡大		休止・廃止		現状	<input type="radio"/>	完了		削減		事業の方向性と資源の配分の内容
事業の方向性		資源(財源・人)の配分																																							
現状維持	<input type="radio"/>	財源																																							
見直して継続		拡大																																							
拡大		現状	<input type="radio"/>																																						
縮小		削減																																							
事業統合		人員																																							
手段見直		拡大																																							
休止・廃止		現状	<input type="radio"/>																																						
完了		削減																																							

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :02教育内容の充実

指標名	児童・生徒の読書冊数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	<input type="radio"/> ソフト	事務事業コード	4866
指標の目標値	小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年（令和07年度）	算出方法		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> ハード	担当課名	学校教育課
関係法令市条例等	-		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針			
事務事業概要	児童生徒の安定した生活から学力の向上を図るため、中学校区で就学前から義務教育終了前の保育・教育の連携を推進します。			作成者	栗田 一路		
事務事業名	幼小中連携推進事業		予算	会計名	一般会計		
				大事業コード	020000		
				款項目	100103		

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 幼小中連携推進事業 中学校区で就学前から義務教育終了前の保育・教育の連携を推進する。 ・市幼小中連携推進会議の開催（3回） ・幼小中連携教育カリキュラムの実践 幼小中連携カリキュラム検討会議（2回）	1 幼小中連携推進事業 中学校区で就学前から義務教育終了前の保育・教育の連携を推進する。 ・市幼小中連携推進会議の開催 ・幼小中連携教育カリキュラムの実践 幼小中連携カリキュラム検討会議（2回）	1 幼小中連携推進事業 中学校区で就学前から義務教育終了前の保育・教育の連携を推進する。 ・市幼小中連携推進会議の開催 ・幼小中連携教育カリキュラムの実践	1 幼小中連携推進事業 中学校区で就学前から義務教育終了前の保育・教育の連携を推進する。 ・市幼小中連携推進会議の開催 ・幼小中連携教育カリキュラムの実践
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊
事業の優先度	B			
事業の財源	決算額 35千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 35千円	予算額 80千円 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 80千円		
職員数/人件費	正 0.4人 会計任 0人 2,379千円	正 0.4人 会計任 0人 2,370千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2 小学校8.5冊 中学校3.2冊	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分			
事務事業の改善内容	＜成果・課題＞ コロナ禍で滞退していた事業（幼小中連携推進会議の開催や幼小連携モデル地区指定の実践等）を進めることができた。 5年前に作成した「幼小中連携カリキュラム」を現在の子どもの実態や学習指導要領に沿ったものに改正し、改訂試行版を作成した。 幼小・小中連携カリキュラムを確実に実施し学力を向上させていく必要がある。	＜改善内容＞ 引き続き就学前から義務教育終了までを見通した保育、学習指導の充実を推進する。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容		
			現状維持	<input type="radio"/> 財源			
			見直して継続		拡大		
			拡大		現状	<input type="radio"/>	
			縮小		削減		
事業統合		人員					
手段見直							
休止・廃止			拡大				
			現状	<input type="radio"/>			
			削減				
完了							

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
 ○基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
 ○施策 :02教育内容の充実

指標名	児童・生徒の読書冊数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	ソフト	事務事業コード	6472
指標の目標値	小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年(令和07年度)	算出方法		継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	-	教育ネットワークの整備・維持により学校のICTを支え、児童生徒の学力向上を推進します。		東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針		作成者	栗田 一路
事務事業名	校務支援事業						予算
事務事業概要		関連計画		大事業コード	170000	款項目	100103

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 教育ネットワークの維持管理 ・教育サーバの維持管理 ・サーバに必要なライセンス更新 2 教育ICT機器の更新 ・校務系PCの更新 職員室PC他 251台 ・学習系PCの更新 図書室PC 30台 ・大型提示装置の更新 小学5、6年・中学3年 86台 Plan 1 (実績) Do 2 3 教育ICTのセキュリティ ・教育ネットワークのセキュリティ管理 ・ソフトのインストール等の管理 ・学習者用タブレット端末等取扱要綱の改定 4 教員の働き方改革 ・長時間勤務時間の把握 ・ICTを使った働き方の推進 ・教員への啓発等 5 GIGAスクール構想の実現 ・ICTサポーターの配置 3名	1 教育ネットワークの維持管理 ・教育サーバの維持管理 ・サーバに必要なライセンス更新 ・イントラ整備・更新 2 教育ICT機器の更新 ・校務系PCの更新 ・デジタル複合機の更新 ・大型提示装置の更新 (小学3、4年・中学2年) 3 教育ICTのセキュリティ ・教育ネットワークのセキュリティ管理 ・ソフトのインストール等の管理 4 教員の働き方改革 ・長時間勤務時間の把握 ・ICTを使った働き方の推進 ・教員への啓発等 5 GIGAスクール構想の実現 ・ICTサポーターの配置	1 教育ネットワークの維持管理 ・教育サーバの維持管理 ・サーバに必要なライセンス更新 ・イントラ整備・更新 2 教育ICT機器の更新 ・校務系PCの更新 ・学習系PCの更新 ・大型提示装置の更新 (小学1、2年・中学1年) 3 教育ICTのセキュリティ ・教育ネットワークのセキュリティ管理 ・ソフトのインストール等の管理 4 教員の働き方改革 ・長時間勤務時間の把握 ・ICTを使った働き方の推進 ・教員への啓発等 5 GIGAスクール構想の実現 ・ICTサポーターの配置	1 教育ネットワークの維持管理 ・教育サーバの維持管理 ・サーバに必要なライセンス更新 ・イントラ整備・更新 2 教育ICT機器の更新 ・校務系PCの更新 ・学習系PCの更新 ・児童生徒一人一台端末の更新 ・学習系ソフトウェアの更新 3 教育ICTのセキュリティ ・教育ネットワークのセキュリティ管理 ・ソフトのインストール等の管理 4 教員の働き方改革 ・長時間勤務時間の把握 ・ICTを使った働き方の推進 ・教員への啓発等 5 GIGAスクール構想の実現 ・ICTサポーターの配置
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊
事業の優先度	A	A		
事業の財源	決算額	予算額		
	122,956千円	129,331千円		
	国庫支出金 0千円	国庫支出金 0千円		
	県支出金 0千円	県支出金 0千円		
	市債 0千円	市債 0千円		
その他 20千円	その他 0千円			
一般財源 122,936千円	一般財源 129,331千円			
職員数/人件費	正 2.5人 会計任 2.21人 23,573千円	正 3人 会計任 2.46人 26,016千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																		
小学校8.5冊 中学校3.2冊																						
事務事業の改善内容	Check 3	<改善内容> 大型提示装置については、小学3、4年及び中学2年の普通教室の更新を行う。職員室の端末については、古いものから順番に更新を行う。校務支援ソフトや出勤システムなどの教育ICTの維持更新を行うことで、引き続き長時間労働の縮減を図る。	事業の方向性	現状維持																		
				見直しして継続																		
				拡大																		
				縮小																		
				事業統合 手段見直し																		
休止・廃止																						
完了																						
<成果・課題> GIGAスクール構想で導入したタブレット端末の活用を図るため、小学5、6年及び中学3年の普通教室にある大型提示装置を更新した。また、タブレット端末の校外学習や持ち帰り学習に活用するため、取扱要綱の改正を行った。引き続き、残りの学年の大型提示装置の更新を行うなど、タブレット端末を活用できる環境の見直しを図っていく必要がある。職員室の校務系端末に配置から5年以上経過しているものがあり、順次更新していく必要がある。教員の長時間労働について把握し、適正な情報提供や周知を行うことで長時間労働の縮減を図る。		資源(財源・人)の配分																				
		事業の方向性と資源の配分の内容																				
		令和7年度 児童生徒一人一台端末の更新による増																				
		<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>拡大</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>現状</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>			財源	拡大	〇		現状			削減		人員	拡大			現状	〇		削減	
財源	拡大	〇																				
	現状																					
	削減																					
人員	拡大																					
	現状	〇																				
	削減																					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち

○基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります

○施策 :03特別支援教育の推進

事務事業名
特別支援教育推進事業

指標名	個別の指導計画作成率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	311
指標の目標値	小学校100% 中学校100% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	東近江市特別支援教育推進協議会条例、発達障害者支援法、東近江市立小中学校通級指導教室設置に係る他校通級実施要綱	関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	栗田 一路		
事務事業概要	子どもの障害の種別に応じた指導・相談活動を行うことにより、学校生活での適切な指導と保護者の悩みの解消を図ります。				予算	会計名	一般会計
						大事業コード	050000
						款項目	100103

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 特別支援教育推進協議会の開催 ・障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズに合った就学先の検討と指導 ・教職員への特別支援教育に係る指導及び研修の実施 2 発達障害サポート事業 ・求めに応じた学校訪問や心理検査、指導助言 ・特別支援学校のセンター的機能の活用 6回 Plan 1 (実績) Do 2	1 特別支援教育推進協議会の開催 ・障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズに合った就学先の検討と指導 ・教職員への特別支援教育に係る学校訪問や指導及び研修の実施 2 発達障害サポート事業 ・求めに応じた学校訪問や心理検査、指導助言 ・特別支援学校のセンター的機能の活用 3 東近江市立小中学校における特別支援教育推進ランドデザインの実施 ・特別支援教育に関する専門性の向上 ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業づくりの推進	1 特別支援教育推進協議会の開催 ・障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズに合った就学先の検討と指導 ・教職員への特別支援教育に係る学校訪問や指導及び研修の実施 2 発達障害サポート事業 ・求めに応じた学校訪問や心理検査、指導助言 ・特別支援学校のセンター的機能の活用 3 東近江市立小中学校における特別支援教育推進ランドデザインの実施 ・特別支援教育に関する専門性の向上 ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業づくりの推進	1 特別支援教育推進協議会の開催 ・障害のある幼児・児童・生徒の教育的ニーズに合った就学先の検討と指導 ・教職員への特別支援教育に係る学校訪問や指導及び研修の実施 2 発達障害サポート事業 ・求めに応じた学校訪問や心理検査、指導助言 ・特別支援学校のセンター的機能の活用 3 東近江市立小中学校における特別支援教育推進ランドデザインの実施 ・特別支援教育に関する専門性の向上 ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業づくりの推進
指標の年度目標値	小学校93.0% 中学校90.0%	小学校96.0% 中学校93.0%	小学校98.0% 中学校97.0%	小学校100% 中学校100%
事業の優先度	B			
事業の財源	決算額	予算額		
	4,945千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
一般財源	4,945千円	5,741千円	5,741千円	
職員数/人件費	正 1.2人 会計任 54.89人 140,015千円	正 1.55人 会計任 52.09人 140,909千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
小学校100% 中学校100%		<改善内容> 学校訪問や研修会の実施、校内授業研究会での指導講話を行うことで、特別支援教育の推進を図る。特別支援学級担任研修の内容の充実を図る。切れ目ない支援を継続するため、幼小中合同コーディネーター会の内容の充実を図る。		事業の方向性 現状維持 ○ 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減	事業の方向性と資源の配分の内容
事務事業の改善内容 Check 3 発達支援センターと連携し、障害のある子どもや保護者の思いを聞き取り、将来を見据えた相談及び就学指導を実施した。支援を必要としている通常の学級在籍の児童生徒が増加しているため、個別の教育支援計画等の見直しと活用に加え、教員の指導力向上を引き続き図る必要がある。切れ目ない支援を行うため、幼小中合同コーディネーター会議を開催し、支援の共有を図った。発達検査の申込みが増加し、全ての要望に応じられないため優先度を見極めながら実施している。						

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち

○基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります

○施策 :03特別支援教育の推進

指標名	個別の指導計画作成率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	4875
指標の目標値	小学校100% 中学校100% 目標年(令和07年度)	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令市条例等	東近江市特別支援教育推進協議会条例、発達障害者支援法、東近江市立小中学校通級指導教室設置に係る他校通級実施要綱		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針			
事務事業概要	児童生徒の発達障害に応じた指導・相談活動を行うことにより、自己理解を促し、学校や社会生活での適切な対応技能の定着を図ります。						
事務事業名	通級指導教室運営事業						
予算			会計名	一般会計			
			大事業コード	060000			
			款項目	100103			

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) (実績)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	1 通級指導教室運営事業 ・通常の学級での学習におおむね参加できるが、一部に特別な指導を必要とする児童生徒の支援 小学校：八日市南、五個荘、山上、蒲生北、能登川東、湖東第二、布引 中学校：聖徳、能登川<中学校は巡回指導> 2 ひらがな聴写テストの実施 ・学習障害を早期に発見し学力向上の基礎となる「ひらがな(単語)の聴写テスト」を実施 市立全小学校1、2年生を対象に年2回(7月、11月) ・課題がある児童の支援について通級指導教員が指導 ・漢字読み優先教材の活用による成果と課題の検証 3 吃音グループ指導 ・通級指導教室での対象児を集めた吃音グループ指導の実施 8回	1 通級指導教室運営事業 ・通常の学級での学習におおむね参加できるが、一部に特別な指導を必要とする児童生徒の支援 小学校：八日市南、五個荘、山上、蒲生北、能登川東、湖東第二、布引 中学校：聖徳、能登川、朝桜中<中学校は巡回指導> 2 ひらがな聴写テストの実施 ・学習障害を早期に発見し学力向上の基礎となる「ひらがな(単語)の聴写テスト」を実施 市立全小学校1、2年生を対象に年2回(7月、11月) ・課題がある児童の支援について通級指導教員が指導 ・漢字読み優先教材の活用による成果と課題の検証 3 吃音グループ指導 ・通級指導教室での対象児を集めた吃音グループ指導の実施 4 教育相談の実施 ・エリア校の保護者や教員を対象とした教育相談	1 通級指導教室運営事業 ・通常の学級での学習におおむね参加できるが、一部に特別な指導を必要とする児童生徒の支援 小学校：八日市南、五個荘、山上、蒲生北、能登川東、湖東第二、布引 中学校：聖徳、能登川、朝桜中<中学校は巡回指導> 2 ひらがな聴写テストの実施 ・学習障害を早期に発見し学力向上の基礎となる「ひらがな(単語)の聴写テスト」を実施 市立全小学校1、2年生を対象に年2回(7月、11月) ・課題がある児童の支援について通級指導教員が指導 ・漢字読み優先教材の活用による成果と課題の検証 3 吃音グループ指導 ・通級指導教室での対象児を集めた吃音グループ指導の実施 4 教育相談の実施 ・エリア校の保護者や教員を対象とした教育相談	1 通級指導教室運営事業 ・通常の学級での学習におおむね参加できるが、一部に特別な指導を必要とする児童生徒の支援 小学校：八日市南、五個荘、山上、蒲生北、能登川東、湖東第二 中学校：聖徳、能登川、朝桜中<中学校は巡回指導> 2 ひらがな聴写テストの実施 ・学習障害を早期に発見し学力向上の基礎となる「ひらがな(単語)の聴写テスト」を実施 市立全小学校1、2年生を対象に年2回(7月、11月) ・課題がある児童の支援について通級指導教員が指導 ・漢字読み優先教材の活用による成果と課題の検証 3 吃音グループ指導 ・通級指導教室での対象児を集めた吃音グループ指導の実施 4 教育相談の実施 ・エリア校の保護者や教員を対象とした教育相談	
指標の年度目標値	小学校93.0% 中学校90.0%	小学校96.0% 中学校93.0%	小学校98.0% 中学校97.0%	小学校100% 中学校100%	
事業の優先度	B				
事業の財源	決算額	予算額			
	1,440千円	国庫支出金	0千円		
		県支出金	0千円		
		市債	0千円		
		その他	0千円		
一般財源	1,440千円	1,763千円			
職員数/人件費	正 0.65人 会計任 3.46人 12,602千円	正 0.6人 会計任 3.5人 12,681千円			

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	小学校100% 中学校100%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 通級指導教室担当者会を適宜開催し、教室間の情報交流、指導力向上のための研修等を行い、よりよい教室運営に努めた。 市立全小学校で、小1・2年生全員に「ひらがな(単語)聴写テスト」を実施したことで、読み書きに課題がある状況が明らかになり、早期発見・早期支援に役立った。また、実態に基づいた指導を実施できた。 吃音グループ指導により、児童自身が自分の良さを認められるようになった。	<改善内容> 通級指導教室が増設となるため、通級指導教員の研修や連携の充実を図ることで指導力向上に努める。 読み書きや計算(算数)に課題がある児童に対して、より意欲的に学習に取り組めるよう効果的な支援を行う。 ひらがなに加えて、読み優先の漢字教材のさらなる活用を図る。 構音指導に対応できる指導力の向上を引き続き図る。	事業の方向性 現状維持 見直しして継続 拡大 ○ 縮小 事業統合 手段見直し 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 ○ 現状 削減 人員 拡大 ○ 現状 削減	事業の方向性と資源の配分の内容 令和7年度まで通級指導教室増設による増	

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :04教育相談体制の充実

事務事業名
いじめ対策推進事業

指標名	学校への復帰率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	251
指標の目標値	60%以上	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針	作成者	栗田 一路
事務事業概要	いじめの早期発見・早期解決のため、学校生活における児童生徒個々の意欲や学級集団の状態に着目して学級経営を改善し、全ての子どもが自己有用感を味わえる学級をめざす取組を支援します。また、学校のいじめを防止するための活動や相談体制の整備について支援します。					会計名	一般会計
						大事業コード	100000
						款項目	100103

令和04年度 事務事業実績

令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																									
<p>主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2</p> <p>1 いじめ問題対策連絡協議会の開催 いじめ問題対策連絡協議会 18人 年2回開催 6月27日、2月16日</p> <p>2 緊急対応特別相談員の派遣 1人</p> <p>3 STOPいじめ運動 市町と話そう中学生サミット いじめの根絶ポスター</p> <p>4 いじめ問題対策委員会設置</p>	<p>1 いじめ問題対策連絡協議会の開催</p> <p>2 緊急対応特別相談員の派遣</p> <p>3 STOPいじめ運動</p> <p>4 いじめ問題対策委員会の開催</p>	<p>1 いじめ問題対策連絡協議会の開催</p> <p>2 緊急対応特別相談員の派遣</p> <p>3 STOPいじめ運動</p> <p>4 いじめ問題対策委員会の開催</p>	<p>いじめ問題対策連絡協議会の開催</p> <p>2 緊急対応特別相談員の派遣</p> <p>3 STOPいじめ運動</p> <p>4 いじめ問題対策委員会の開催</p>																									
指標の年度目標値	60%以上	60%以上	60%以上																									
事業の優先度	A	A	A																									
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>3,929千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>2,030千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,899千円</td></tr> </table>	決算額	3,929千円	国庫支出金	0千円	県支出金	2,030千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,899千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>6,374千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>2,240千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,134千円</td></tr> </table>	予算額	6,374千円	国庫支出金	0千円	県支出金	2,240千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	4,134千円		
決算額	3,929千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	2,030千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	1,899千円																											
予算額	6,374千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	2,240千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	4,134千円																											
職員数/人件費	正 1人 会計任 1.01人 8,679千円	正 1.4人 会計任 1.05人 11,176千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	61%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																								
事務事業の改善内容 Check 3	<p><成果・課題></p> <p>いじめの未然防止のため、児童生徒が主体となる取組を行った。ネットいじめ根絶ポスターを募集し、優秀作品を活用してチラシを作成した。より広くいじめ防止の意識を周知する活動ができた。</p> <p>市内10中学校の生徒会が集まり、今年度の学校の取組について、「居場所づくり・絆づくり」をテーマにして交流ができた。地域でいじめを許さない風土の醸成を図った。</p> <p>さらにいじめ防止に関する意識を高めていくことが必要である。</p>		<p><改善内容></p> <p>児童生徒自らがいじめ問題に課題意識を持てるよう、活動を継続していく。また、いじめの未然防止につなげられるよう、サミットの開催やいじめ防止啓発活動等進めていく。</p> <p>児童生徒のいじめに対する意識を高めていけるよう発信方法等を工夫していく。また、特別活動を中心に児童生徒が主体的に取り組める活動を行う。</p>		<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>○ 財源</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>事業統合 手段見直</td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	○ 財源		見直して継続	拡大	拡大	現状	縮小	削減	事業統合 手段見直	人員		休止・廃止	拡大		完了	現状			削減	
	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																										
	現状維持	○ 財源																											
	見直して継続	拡大																											
拡大	現状																												
縮小	削減																												
事業統合 手段見直	人員																												
休止・廃止	拡大																												
完了	現状																												
	削減																												

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :04教育相談体制の充実

事務事業名
学校問題対策事業

指標名	学校への復帰率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	4887
指標の目標値	60%以上	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針		関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市教育行政基本方針			
事務事業概要	児童生徒の悩みごとや子どもの成長などに関する保護者の抱える課題の解決を支援します。いじめや不登校、暴力行為や虐待など児童生徒の学校での多様な問題への早期発見、早期対応をするため、指導主事、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校問題対策支援員等を派遣し、なめらかな学校運営を支援します。						
作成者	栗田 一路		会計名	一般会計			
予算	大事業コード		090000				
款項目	100103						

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 学校問題対策支援室 ・生徒指導に関わる教職員の研修 ・学校の教育相談体制の充実 ・学校問題対策支援員の派遣 2 スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー活用事業 ・学校問題に関わる相談への対応 ・学校問題に関わる学校への支援 3 スクーリング・ケアサポーターの派遣 ・配置学校数11校	1 学校問題対策支援室 ・生徒指導に関わる教職員の研修 ・学校の教育相談体制の充実 ・学校問題対策支援員の派遣 ・さわやか相談員の派遣 2 スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー活用事業 ・学校問題に関わる相談への対応 ・学校問題に関わる学校への支援 3 スクーリング・ケアサポーターの派遣	1 学校問題対策支援室 ・生徒指導に関わる教職員の研修 ・学校の教育相談体制の充実 ・学校問題対策支援員の派遣 ・さわやか相談員の派遣 2 スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー活用事業 ・学校問題に関わる相談への対応 ・学校問題に関わる学校への支援 3 スクーリング・ケアサポーターの派遣
指標の年度目標値	60%以上			
事業の優先度	-			
事業の財源	決算額 8,519千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	1,060千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
		一般財源	7,459千円	
職員数/人件費	正 1.7人 会計任 4.43人 20,788千円	正 2.15人 会計任 4.68人 24,489千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価 | 令和05年度の改善の取り組み | 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績 Do 2	61%	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 教職員への研修を行い、学校問題への対応について力量を高め、スクールソーシャルワーカーや学校問題対策支援員等を派遣し、専門的な知見から助言や支援を行い、学校問題の早期発見、課題解決に向けての対応を図れた。スクーリングケアサポーターを派遣し、不登校や学級不適應の児童に対し、寄り添い支援を行い、自信の回復や安心感の獲得につなげることができた。学校に関わる課題は複雑化が進んでおり、学校問題対策支援室と各学校との連携強化を図る必要がある。	<改善内容> 学校問題対策支援室と各学校との連携をより強化するため、指導主事の訪問を行う。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの派遣時数の増加及び学校問題対策支援員、さわやか相談員の継続した派遣を通して、学校の教育相談体制、校種間の連携を強化した支援体制づくりを進めていく。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
			現状維持	○ 財源	拡大 現状 削減
			見直して継続	人員	
			拡大		
			縮小		
事業統合 手段見直	拡大 現状 削減				
休止・廃止					
完了					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- **施策** :04教育相談体制の充実

事務事業名
子どもオアシス管理運営事業

指標名	学校への復帰率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ 継続	ソフト	○ ハード	事務事業コード	154
指標の目標値	60%以上	算出方法						担当課名	学校教育課
関係法令市条例等	-							作成者	栗田 一路
事務事業概要	東近江市内で不登校を始め不適応を起こしている児童・生徒の学習支援、活動支援、学校等の連携に関する活動を促進し、社会的自立や学校復帰への援助に資するための児童生徒成長支援室施設の管理運営を行います。			関連計画				予算	
								会計名	一般会計
								大業コード	120000
								款項目	100103

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
		1 施設の維持管理 ・施設の管理、修繕、運営等に関わること ・施設の定期点検の実施	2 入所した他の団体等との調整 ・施設維持に必要な経費の按分(八日市図書館) ・他の団体との連携・調整による事業のスムーズな進捗	3 空調設備修繕に関わること	1 施設の維持管理 ・施設の管理、修繕、運営等に関わること ・施設の定期点検の実施	2 入所した他の団体等との調整 ・施設維持に必要な経費の按分(八日市図書館) ・他の団体との連携・調整による事業のスムーズな進捗	3 空調設備修繕(工事)に関わること	1 施設の維持管理 ・施設の管理、修繕、運営等に関わること ・施設の定期点検の実施	2 入所した他の団体等との調整 ・維持に必要な経費の按分(八日市図書館) ・他の団体との連携・調整による事業のスムーズな進捗
Plan 1 (実績)									
Do 2									
指標の年度目標値	60%以上		60%以上		60%以上		60%以上		
事業の優先度	B		B		B		B		
事業の財源	決算額	3,900千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	
			市債	0千円	その他	931千円	一般財源	2,773千円	
			その他	1,127千円	一般財源	5,238千円			
			一般財源	2,773千円					
職員数/人件費	正	0.4人	会計任	1.18人	4,899千円	正	0.4人	会計任	1.15人
					0千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	66.7%	令和05年度の改善の取り組み		令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分						
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 施設を有効活用できるように、老朽化している箇所(カーペット)の修繕、掲示用レール設置等を計画的に進め環境整備ができた。 八日市図書館をはじめ、入所している他団体との館内調整会議に定期的に参加するなどして、連携をとりながら環境整備を進めた。	<改善内容> 施設の環境を整え支援教室と相談業務の活性化・有効化を鋭意進めていく。 空調設備の改修(令和4年度設計監理、令和5年度工事)が予定されており、今後も管財課や八日市図書館と連携し、よりよい環境を整備する。また施設そのものが老朽化しているため、安全点検を定期的に行い、安全で快適な環境の中で不登校(傾向)の児童生徒や保護者の支援ができるよう努める。	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容			
				現状維持	○	財源					
				見直して継続		拡大		現状	○		
				拡大		削減		人員			
				縮小		拡大		現状	○		
事業統合		削減									
手段見直											
休止・廃止											
完了											

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :04教育相談体制の充実

指標名	学校への復帰率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	395
指標の目標値	60%以上	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校教育課
関係法令 市条例等	-			東近江市地域福祉計画		作成者	栗田 一路
事務事業名	不登校児童生徒支援事業	事務事業概要	適応指導教室を開設し、学校へ行きたくても行けない小学生・中学生の心をときほぐし、生活意欲を高めて社会的自立や学校生活に復帰できるように支援を行います。 また、不登校（不登校傾向）の子どもや保護者の悩み・不安を解消するために、オアシス相談員が相談を受けて、相談者の自立や成長を応援し、問題解決に向けて支援します。	関連計画		予算 大事業コード	110000
						款項目	100103

令和04年度 事務事業実績 / 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 児童生徒成長支援教室の開設・運営 ・オアシス教室 場 所：東近江市文化交流センター2階 指導員：3名 ・さわやか教室 場 所：能登川コミセン別館2階 指導員：2名 ・チャレンジ教室 場 所：蒲生支所3階 指導員：2名	1 児童生徒成長支援教室の開設・運営 ・オアシス教室 場 所：東近江市文化交流センター2階 指導員：3名 ・さわやか教室 場 所：能登川コミセン別館2階 指導員：2名 ・チャレンジ教室 場 所：蒲生支所3階 指導員：2名	1 児童生徒成長支援教室の開設・運営 ・オアシス教室 場 所：東近江市文化交流センター2階 指導員：3名 ・さわやか教室 場 所：能登川コミセン別館2階 指導員：2名 ・チャレンジ教室 場 所：蒲生支所3階 指導員：2名	1 児童生徒成長支援教室の開設・運営 ・オアシス教室 場 所：東近江市文化交流センター2階 指導員：3名 ・さわやか教室 場 所：能登川コミセン別館2階 指導員：2名 ・チャレンジ教室 場 所：蒲生支所3階 指導員：2名
2 スーパーバイザーによる指導助言 (年13回/3h)	2 スーパーバイザーによる指導助言 (年13回/3h)	2 スーパーバイザーによる指導助言 (年13回/3h)	2 スーパーバイザーによる指導助言 (年13回/3h)	2 スーパーバイザーによる指導助言 (年13回/3h)
3 心理判定員による事例の判定 (年63回/3h)	3 心理判定員による事例の判定 (年63回/3h)	3 心理判定員による事例の判定 (年85回/3h)	3 心理判定員による事例の判定 (年85回/3h)	3 心理判定員による事例の判定 (年85回/3h)
4 教室器具の充実	4 教室器具の充実	4 教室器具の充実	4 教室器具の充実	4 教室器具の充実
5 子どもオアシス相談事業 ・相談員による面接相談の実施。また、相談者が来所しやすい相談体制を整える。 ・相談事業の周知（ポスター等）	5 子どもオアシス相談事業 ・相談員による面接相談の実施。また、相談者が来所しやすい相談体制を整える。 ・相談事業の周知（ポスター等）	5 子どもオアシス相談事業 ・相談員による面接相談の実施。また、相談者が来所しやすい相談体制を整える。 ・相談事業の周知（ポスター等）	5 子どもオアシス相談事業 ・相談員による面接相談の実施。また、相談者が来所しやすい相談体制を整える。 ・相談事業の周知（ポスター等）	5 子どもオアシス相談事業 ・相談員による面接相談の実施。また、相談者が来所しやすい相談体制を整える。 ・相談事業の周知（ポスター等）
指標の年度目標値	60%以上	60%以上	60%以上	60%以上
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	3,558千円	4,295千円		
	国庫支出金	国庫支出金		
	0千円	0千円		
	県支出金	県支出金		
0千円	0千円			
市債	市債			
0千円	0千円			
その他	その他			
0千円	0千円			
一般財源	一般財源			
3,558千円	4,295千円			
職員数/人件費	正 0.6人 会計任 6.91人 19,678千円	正 0.6人 会計任 6.89人 0千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価 / 令和05年度の改善の取り組み / 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	66.7%	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分			
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
	不登校（傾向）の児童生徒数は増加傾向が続いており、通室生数も昨年同様高く推移している。児童生徒や保護者、学校の要望に応えるべく、学校をはじめ関係機関とも連携し適切な支援を行った。心理判定員やスーパーバイザーの助言や研修を積極的に日々の支援や相談に生かして運営した。また、3つの教室を生かして支援活動を展開することができた。		不登校（傾向）の児童生徒が急増し、通室生も増加すると考えられる現状のため、ニーズに応える体制の構築に努める。また、低年齢化、複雑多様化するケースに適切に対応するために、指導員や相談員の学習機会や研修機会を整えていく。さらに、より適切な支援ができるよう、学校をはじめ関係機関との連携を今後も図る。特に学校問題対策支援室、こども相談支援課、発達支援センターとは積極的・意識的に連携していく。		現状維持	○ 財源	
					見直して継続	拡大	
					拡大	現状	
					縮小	削減	
					事業統合	人員	
				手段見直	拡大		
				休止・廃止	現状		
				完了	削減		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくりまします
- 施策 :01人権教育・啓発の推進

指標名	人権に関する講座等に参加した人の割合	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	164
指標の目標値	31%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	生涯学習課
関係法令市条例等	人権尊重のまちづくり条例	関連計画		東近江市人権施策基本計画			
事務事業概要	人権のまちづくり講座の実施や人権学習冊子作成のほか、県民のつどいなどに参加し、様々な人権問題について複合的に学ぶことで人権啓発リーダーなどの人材育成を図り、お互いの人権が守り守られるまちづくりに努めます。 様々な人権問題解決に向けて町別懇談会を始め人権ミニ講座及び人権研修会を実施します。さらには、東近江市の人権啓発集会として「人権ふれあい市民のつどい」を実施します。						
事務事業名	人権学習推進事業						
予算		会計名	一般会計	大事業コード	020000	作成者	中西 恵美子
		款項目			100503		

令和04年度 事務事業実績

令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2				
1 人権のまちづくり講座の開催 6月4日～6月25日 4回 229人 2 人権学習冊子「ぬくもり」の発刊 40,000部 全戸配布 3 人権学習への取組 ・県民のつどいへの参加促進 ・滋賀県人権教育研究大会への参加促進 4 人権ふれあい市民のつどいの開催 9月10日(土) 310人 2月23日(祝) 映画上映会(追加) 500人 ぬくもりメッセージ作品募集 8月29日～12月8日 9,440点 2月18日(土) 表彰式 啓発ビデオ購入・貸出し 7 人権のまちづくり推進員等研修 7月21日(木) やまなみ工房 14人 8 人権のまちづくり協議会事業 ・14地区人権のまちづくり協議会への支援 ・町別懇談会の開催 263会場 5,162人 ・人権のまちづくり講座・啓発活動等	1 人権のまちづくり講座の開催 2 人権学習冊子「ぬくもり」の発刊 3 人権学習への取組 ・県民のつどいへの参加促進 ・滋賀県人権教育研究大会への参加促進 4 人権ふれあい市民のつどいの開催 5 ぬくもりメッセージ作品募集 6 啓発ビデオ購入・貸出し 7 人権のまちづくり推進員等研修 8 人権のまちづくり協議会事業 ・14地区人権のまちづくり協議会への支援 ・町別懇談会の開催 ・人権のまちづくり講座・啓発活動等	1 人権のまちづくり講座の開催 2 人権学習冊子「ぬくもり」の発刊 3 人権学習への取組 ・県民のつどいへの参加促進 ・滋賀県人権教育研究大会への参加促進 4 人権ふれあい市民のつどいの開催 5 ぬくもりメッセージ作品募集 6 啓発ビデオ購入・貸出し 7 人権のまちづくり推進員等研修 8 人権のまちづくり協議会事業 ・14地区人権のまちづくり協議会への支援 ・町別懇談会の開催 ・人権のまちづくり講座・啓発活動等	1 人権のまちづくり講座の開催 2 人権学習冊子「ぬくもり」の発刊 3 人権学習への取組 ・県民のつどいへの参加促進 ・滋賀県人権教育研究大会への参加促進 4 人権ふれあい市民のつどいの開催 5 ぬくもりメッセージ作品募集 6 啓発ビデオ購入・貸出し 7 人権のまちづくり推進員等研修 8 人権のまちづくり協議会事業 ・14地区人権のまちづくり協議会への支援 ・町別懇談会の開催 ・人権のまちづくり講座・啓発活動等	
指標の年度目標値	25.0%	27.0%	29.0%	31.0%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額 8,793千円 国庫支出金 0千円 県支出金 548千円 市債 0千円 その他 1,584千円 一般財源 6,661千円	予算額 10,312千円 国庫支出金 0千円 県支出金 430千円 市債 0千円 その他 621千円 一般財源 9,261千円		
職員数/人件費	正 1.3人 会計任 0.98人 11,770千円	正 1.32人 会計任 0.93人 11,621千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	25.1%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分	
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 人権のまちづくり講座は予定どおり4回開催。市民のつどいは3年ぶりに開催することができた。講師の話が好評であり、2月に追加で映画上映会を実施。予想以上の反響で次年度に第2弾を実施予定となった。参加者の年齢層に偏りがあり、改善のため、広報活動を強化する必要がある。人権学習冊子「ぬくもり」を全戸配布し、町別懇談会開催時に活用を推進した。		<改善内容> 人権のまちづくり講座は、国や滋賀県が定める重点項目をテーマに取り上げ、町推進員が町別懇談会を進めるに当たり参考となる講座の開催を目指す。人権学習冊子の使用を呼びかけ、町別懇談会での活用率向上を目指す。市民のつどいでは、幅広い層が関心を持てる講師の選定、子育て世代等が参加しやすい環境づくりをし、参加者の増加を目指す。町別懇談会は、地区の自主的な活動を軸に広報周知し、参加者増を目指す。		事業の方向性	
					現状維持	資源(財源・人)の配分
					見直して継続	事業の方向性と資源の配分の内容
					拡大 縮小 事業統合 手段見直	財源 拡大 現状 削減
					休止・廃止 完了	人員 拡大 現状 削減

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくりまします
- **施策** :02青少年の健全育成

事務事業名
青少年育成推進事業

指標名	青少年育成推進事業への若者の協力者数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	193
指標の目標値	83人	算出方法		○継続	ハード	担当課名	生涯学習課
関係法令市条例等	地方青少年問題協議会法、東近江市青少年問題協議会条例、東近江市教育振興事業補助金交付要綱			関連計画	東近江市教育振興基本計画	作成者	中西 恵美子
事務事業概要	青少年に関する総合的施策を調整し、少年センターを始め関係機関、学校、地域及び家庭との連携を図りながら、青少年の健全育成に取り組みます。 青少年を心身ともに健全に育成することを目的に、青少年を取り巻く環境の浄化、様々な体験活動をととまて「生きる力」を育むとともに、社会の一員としての意識を高めます。 また、自然体験活動を通じ、豊かな心を育むためにやまの子キャンプを実施します。					会計名	一般会計
						予算大事業コード	010000
						款項目	100502

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 Do 2	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度			
		1 青少年問題協議会設置 ・令和5年1月23日(17人出席)	2 東近江少年センター分担金 ・前期11,482円(4/25)後期11,482円(9/5)	3 子ども安全対策の推進 ・「子ども110番の家」(1,317箇所) ・「子ども110番の車」23事業所 ・防犯教室の開催(小学校14教室 学童1教室)	4 不審者情報メールの配信等 ・不審者情報メール登録(7,199件)	5 青少年育成市民会議への支援 6 初発型非行防止対策 ・愛のパトロール巡回移動(7支部85日)	7 家族ふれあい啓発事業 ・市内無料開放 15箇所 施設利用者数543人(子ども282人 大人261人)	8 成人式の開催 ・参加者611人 成人式実行委員24人	9 やまの子キャンプの開催 ・参加者数148人 青年リーダー31人	10 文化に関する全国大会出場者激励金の交付 ・ロボカップ4名 ・日本剣道少年団体体験実践発表会 1名
指標の年度目標値	72人		76人		79人		83人			
事業の優先度	B		B							
事業の財源	決算額	国庫支出金 0千円 県支出金 409千円 市債 0千円 その他 12,240千円 一般財源 24,884千円	予算額	国庫支出金 0千円 県支出金 439千円 市債 0千円 その他 13,080千円 一般財源 26,471千円						
職員数/人件費	正 1.95人 会計任 1.5人	14,949千円	正 1.92人 会計任 1.63人	15,287千円						

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	66人/年	令和05年度の改善の取り組み		Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 青少年育成市民会議は、ほぼ例年通り事業実施できた。コロナ禍で、地域の青少年育成事業が思うように行えなくなることが続いたことや、子どもの数が減ったことなどから、事業実施が難しくなっている地域がある。 やまの子キャンプは新型コロナウイルス感染症対策のため前年と同じくデイキャンプで実施した。また、中学生議会を初めて行い、好評を得たことから、来年度も引き続き行っていく。	<改善内容> 青少年育成市民会議は、コロナ禍で青少年のための事業が中止され、地域の子どもの地域で育てるといふ雰囲気が少なくなっている状況を打破するため、団体で助け合い、寄り添いながら必要な事業を行っていく。 今年度、やまの子キャンプは宿泊キャンプを復活し、リーダーを育てながら、広く子どもたちが参加しやすいうプログラム作りを行う。また青年リーダーを中心としたキャンプの計画運営を行えるよう組織づくりをし、より充実した人材育成を行う。	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容		
			現状維持	○	財源				
			見直して継続		拡大			現状	○
			拡大		縮小			削減	
				事業統合		人員			
				手段見直					
				休止・廃止		拡大			
				完了		現状	○		
						削減			

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくります
- 施策 :02青少年の健全育成

指 標 名	青少年育成推進事業への若者の協力者数	指 標	成果指標一覧のとおり	○新規	○ソフト	事務事業コード	7636	
指標の目標値	83人	算出方法		継続	ハード	担当課名	生涯学習課	
関係法令 市 条 例 等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、東近江市学校運営協議会規則			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市子ども・子育て支援事業計画	作成者	中西 恵美子	
事務事業概要	地域と学校が連携・協働し、将来を担う子どもたちの教育を支えるため、幅広い層の地域住民や企業・団体等の参画により、市民一人ひとりが当事者意識をもって地域を創生する活動として、「地域学校協働活動」を推進します。					予 算	会 計 名	一般会計
						大 事 業 コード	040000	
事務事業名	地域力強化事業			款 項 目	100502			

令和04年度 事務事業実績

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 地域学校協働活動事業 地域学校協働本部 31校 推進員 29人 教育支援活動 15教室(蒲生地区、玉緒地区) 放課後子ども教室 5教室 2 学校運営協議会事業 学校運営協議会(コミュニティ・スクール) 4校 ※令和4年度から新たに2校増 3 家庭教育支援事業 家庭教育支援員(スマイルサポーター)配置校 5校(箕作小、八日市北小、八日市西小、 五個荘小、玉園中)	1 地域学校協働活動事業 2 学校運営協議会事業 3 家庭教育支援事業	1 地域学校協働活動事業 2 学校運営協議会事業 3 家庭教育支援事業
指標の年度目標値	72人	76人	79人	83人
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額 6,501千円 国庫支出金 0千円 県支出金 4,305千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 2,196千円	予算額 10,921千円 国庫支出金 64千円 県支出金 7,147千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 3,710千円		
職員数/人件費	正 1.16人 会計任 0.4人 8,098千円	正 1.15人 会計任 0.4人 8,127千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	66人/年	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分	
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> コミュニティ・スクール(CS)はモデル校が新たに2校始動した。取組が2年目のCSについては引き渡し訓練や、子育てカフェ、子ども円卓会議等、CSで何ができ、何をすべきかを検討しながら事業が実施された。1年目のCSについては地域の子どもの現状や課題について、またどんな教育や体験が必要かなどの熟考がなされた。CSの設置を今後どのような形で行っていくのか(設置範囲、期間等)の検討と周知が必要。	<改善内容> コミュニティ・スクール(CS)事業のモデル校は、3年という期間を設けていたので、今後の支援の仕方と、学校や地域にとって有効なツールとするためにどのような取組方があるのか検証していく。令和4年度は、家庭教育支援事業において家庭教育支援員(スマイルサポーター)を5校に配置したが、今後も配置校が増えるよう実績や成果をまとめ、事業の周知を図る。	事業の方向性 現状維持 ○ 見直して継続 拡大 縮小 事業統合 手段見直 休止・廃止 完了	資源(財源・人)の配分 財源 拡大 現状 ○ 削減 人員 拡大 現状 ○ 削減	事業の方向性と資源の配分の内容

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくりまします
- **施策** :03多様な学習機会・情報の提供

指標名	市民講師による生涯学習出前講座の実施回数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	19
指標の目標値	112回	算出方法		○ 継続	○ ハード	担当課名	生涯学習課
関係法令市条例等	社会教育法、東近江市社会教育委員条例、東近江市社会教育委員会規則、東近江市女性団体活動事業補助金交付要綱			関連計画	東近江市人づくりプラン（生涯学習編）	作成者	中西 恵美子
事務事業概要	社会教育委員会議の実施や各種研修会等を通じて社会教育委員及び関係職員の資質向上を図ります。市内の社会教育関係団体等へ補助金の交付や指導助言を行うことにより活動を支援し、各団体の組織強化及び活動の活性化を図るとともに団体の自立を推進します。					予算	会計名
事務事業名	社会教育推進事業			大事業コード	020000		
				款項目	100501		

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																								
		1 社会教育委員会議の開催（2回） 2 社会教育委員及び職員の研修会 ・コミュニティセンター職員研修 4回（63人） ・滋賀県社会教育委員連絡協議会研修会（参加者6人） ・近畿地区社会教育研究大会（参加者5人） ・滋賀県社会教育研究大会（参加者4人） ・東近江地域社会教育委員連絡会合同研修会（参加者66人） 3 女性団体活動への支援 ・東近江市女性会	1 社会教育委員会議の開催 2 社会教育委員及び職員の研修会 ・コミュニティセンター職員研修 ・滋賀県社会教育委員連絡協議会研修会 ・近畿地区社会教育研究大会 ・滋賀県社会教育研究大会 ・東近江地域社会教育委員連絡会合同研修会 ・社会教育主事講習 3 女性団体活動への支援 ・東近江市女性会	1 社会教育委員会議の開催 2 社会教育委員及び職員の研修会 ・コミュニティセンター職員研修 ・滋賀県社会教育委員連絡協議会研修会 ・近畿地区社会教育研究大会 ・滋賀県社会教育研究大会 ・東近江地域社会教育委員連絡会合同研修会 3 女性団体活動への支援 ・東近江市女性会	1 社会教育委員会議の開催 2 社会教育委員及び職員の研修会 ・コミュニティセンター職員研修 ・滋賀県社会教育委員連絡協議会研修会 ・近畿地区社会教育研究大会 ・滋賀県社会教育研究大会 ・東近江地域社会教育委員連絡会合同研修会 ・社会教育主事講習 3 女性団体活動への支援 ・東近江市女性会																							
指標の年度目標値	97回	102回	106回	112回																								
事業の優先度	B	B																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>486千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>486千円</td></tr> </table>	決算額	486千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	486千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>861千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>861千円</td></tr> </table>	予算額	861千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	861千円		
決算額	486千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	486千円																											
予算額	861千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	861千円																											
職員数/人件費	正 0.47人 会計任 0.14人 3,860千円	正 0.45人 会計任 0.11人 3,475千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	33回	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																																		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 社会教育委員やコミュニティセンター職員等に研修や会議等への参加を促進し、研鑽を深めた。社会教育委員会議について、教育委員等との合同会議（研修）を行う等、意見・情報交換を行う必要がある。		<改善内容> 現在の社会教育委員の任期が令和5年6月30日をもって満了となるため、新たな委員の委嘱を行う。引き続き、社会教育委員や社会教育関係職員等の研修、会議等へ参加することにより社会教育行政を推進する。社会教育団体の会員が減少するなど、運営が難しくなっている団体があるため、情報収集や現状把握に努める。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																																
					<table border="1"> <tr><td>現状維持</td><td>○</td><td>財源</td><td></td></tr> <tr><td>見直して継続</td><td></td><td>拡大</td><td></td></tr> <tr><td>拡大</td><td></td><td>現状</td><td>○</td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td>削減</td><td></td></tr> <tr><td>事業統合</td><td></td><td>人員</td><td></td></tr> <tr><td>手段見直</td><td></td><td>拡大</td><td></td></tr> <tr><td>休止・廃止</td><td></td><td>現状</td><td>○</td></tr> <tr><td>完了</td><td></td><td>削減</td><td></td></tr> </table>	現状維持	○	財源		見直して継続		拡大		拡大		現状	○	縮小		削減		事業統合		人員		手段見直		拡大		休止・廃止		現状	○	完了		削減			
現状維持	○	財源																																					
見直して継続		拡大																																					
拡大		現状	○																																				
縮小		削減																																					
事業統合		人員																																					
手段見直		拡大																																					
休止・廃止		現状	○																																				
完了		削減																																					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- **基本目標** :03未来を創造するひとをつくるまち
- **基本的政策** :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくります
- **施策** :03多様な学習機会・情報の提供

事務事業名

生涯学習推進事業

指標名	市民講師による生涯学習出前講座の実施回数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	36
指標の目標値	112回 目標年 (令和07年度)	算出方法		○ 継続	ハード	担当課名	生涯学習課
関係法令市条例等	子どもの読書活動の推進に関する法律		関連計画	東近江市人づくりプラン(生涯学習編)、東近江市子ども読書活動推進計画			
事務事業概要	市民大学や出前講座など市民が主体的に学べる学習機会の提供と学習成果をいかす機会を創出するとともに各種学習情報を提供し市民の生涯学習を支援します。						
予算	会計名	一般会計					
款項目	大業コード	010000					
	款項目	100508					

令和04年度 事務事業実績 / 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
		1 市民大学の開催 全6回 受講者数延べ1,237人	1 市民大学の開催	2 生涯学習出前講座の運営 メニュー105件(うち市民講師31人) 実施回数 88回(うち市民講師33回)	2 生涯学習出前講座の運営	3 子ども読書活動推進 子ども読書活動推進計画第4次計画策定 委員会の開催(4回)	3 子ども読書活動推進 子ども読書活動推進委員会の開催	4 学習情報紙の発行(2回)
指標の年度目標値	97回		102回		106回		112回	
事業の優先度	B		B					
事業の財源	決算額	国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 1,277千円 一般財源 3,750千円	予算額	国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 2,600千円 一般財源 2,578千円				
職員数/人件費	正 1.28人 会計任 0.54人	9,103千円	正 1.16人 会計任 0.27人	7,013千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	33回	令和05年度の改善の取り組み		Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性	資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容
	生涯学習情報紙を市役所のほか、コミュニティセンター、図書館、博物館、文化ホールに設置し、広く市民に情報提供を行った。 新型コロナウイルス感染症に対しても、対策を講じ講座を実施することができた。 登録講座数が減少しているため、講座数の増加、講師確保が課題となる。 東近江市子ども読書活動推進計画第3次計画の計画期間が令和5年3月31日までであることから、次期第4次計画を策定した。		出前講座やコミュニティセンター講座を通じて、市民のニーズに合った学習機会を提供する。 学びたい人と教えたい人のお互いの意欲を向上させる出前講座を周知するとともに、あかね文化ホールやコミュニティセンターと連携し、市民講師の充実を図る。 東近江市子ども読書活動推進計画第4次計画で設定した子どもの読書活動の推進状況を概観できる指標を使い、子どもの読書活動の推進を図る。		現状維持	○ 財源		
					見直して継続		拡大	
					拡大		現状	○
					縮小		削減	
				事業統合		人員		
				手段見直		拡大		
				休止・廃止		現状	○	
				完了		削減		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくりまします
- 施策 :04文化芸術の振興

指標名	美術展覧会の入場者	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	396
指標の目標値	1,304人	算出方法	目標年（令和07年度）	○継続	ハード	担当課名	生涯学習課
関係法令 市条例等	文化芸術基本法、東近江市美術展覧会開催規則、東近江市民ギャラリー運営委員会要綱、東近江市文化振興事業補助金交付要綱			関連計画		作成者	中西 恵美子
事務事業概要	文化芸術活動を通じ心豊かな市民生活につながるまちづくりを目指し、文化芸術活動の鑑賞や発表の場を提供など文化芸術に係る育成・支援を行います。					会計名	一般会計
						大事業コード	010000
事務事業名	文化振興事業			款項目	100509		

令和04年度 事務事業実績 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) (実績)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 東近江市美術展覧会の開催（10月） 第1期 10月1日（土）～6日（木） 第2期 10月8日（土）～14日（金） 入場者数 1,057人 2 東近江市芸術文化祭の開催（9月～12月） 入場者数 1,379人 期間 9月1日（木）～12月31日（土） 3 市民ギャラリー展示 展示期間 2週間～2箇月 平面の部 20団体（個人） 立体の部 14団体（個人） 4 芸術文化活動団体等への支援 ・文化団体連合会 ・5地区文化協会	1 東近江市美術展覧会の開催（10月） 2 東近江市芸術文化祭の開催（9月～12月） 3 市民ギャラリー展示 4 芸術文化活動団体等への支援 ・文化団体連合会 ・5地区文化協会 ・文化振興に関する全国大会出場に係る激励金	1 東近江市美術展覧会の開催（10月） 2 東近江市芸術文化祭の開催（9月～12月） 3 市民ギャラリー展示 4 芸術文化活動団体等への支援 ・文化団体連合会 ・5地区文化協会 ・文化振興に関する全国大会出場に係る激励金	1 東近江市美術展覧会の開催（10月） 2 東近江市芸術文化祭の開催（9月～12月） 3 市民ギャラリー展示 4 芸術文化活動団体等への支援 ・文化団体連合会 ・5地区文化協会 ・文化振興に関する全国大会出場に係る激励金
指標の年度目標値	1,141人	1,195人	1,250人	1,304人
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	7,355千円	7,979千円	
	国庫支出金	0千円	0千円	
	県支出金	0千円	0千円	
	市債	0千円	0千円	
	その他	6,780千円	7,480千円	
一般財源	575千円	499千円		
職員数/人件費	正 1.32人 会計任 0.6人 9,434千円	正 1.43人 会計任 0.33人 8,125千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	1,057人	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分			
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	
	感染症対策を講じて事業を実施することができた。美術展覧会では、若者の作品を募るため、市内高等学校へ出向き、出品依頼を行った結果、194点の応募のうち、29点の応募があった。出品者の固定化、高齢化が進んでおり、新規出品者の開拓と募集告知の強化を継続する必要がある。市民ギャラリーについては、市内中学校への展示依頼を行うなど、若者の展示について引き続き取り組み、今年度は展示率100%に達した。		芸術文化祭は魅力のあるイベントを企画し、美術展覧会は作品を鑑賞するだけでなく、作家と交流できる機会を設ける等、出品者や入場者の満足度を高める工夫を行う。出品者や入場者の増加を図るために、各部門から県内高等学校、大学等へ出品依頼に伺うなど募集告知の強化を行う。市民ギャラリーも引き続き市内各学校へのアプローチを行い、若者の展示の機会を設ける。		現状維持	○ 財源		
					見直して継続		拡大	
					拡大		現状	○
					縮小		削減	
				事業統合		人員		
				手段見直				
				休止・廃止		拡大		
						現状	○	
				完了		削減		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくります
- 施策 :04文化芸術の振興

事務事業名
文化振興施設管理運営事業

指標名	美術展覧会の入場者	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	397
指標の目標値	1,304人	算出方法		○継続	ハード	担当課名	生涯学習課
関係法令 市条例等	文化芸術基本法、東近江市立あかね文化ホール条例、東近江市やわらぎホール条例			関連計画		作成者	中西 恵美子
事務事業概要	文化振興施設の適正な管理運営を行い、市民への文化芸術活動の場や機会の提供を進めます。					予算	会計名
						大業コード	020000
						款項目	100509

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	1 やわらぎホール（指定管理） 利用者数96件 利用者6,312人 2 あかね文化ホール（指定管理） 利用者数232件 利用者21,412人 3 施設等修繕 4 公共施設予約システムの管理 Plan 1 (実績) Do 2	1,141人	1,195人	1,250人	1,304人			
指標の年度目標値	1,141人	1,195人	1,250人	1,304人				
事業の優先度	B	B						
事業の財源	決算額	国庫支出金	0千円	予算額	国庫支出金	0千円		
	49,694千円	県支出金	0千円	70,697千円	県支出金	0千円		
		市債	0千円		市債	0千円		
		その他	2,747千円		その他	1,670千円		
		一般財源	46,947千円		一般財源	69,027千円		
職員数/人件費	正 0.35人 会計任 0.1人 3,007千円	正 0.4人 会計任 0.1人 3,042千円						

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価 | 令和05年度の改善の取り組み | 令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	1,057人	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分			
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 文化振興施設の適正な管理運営を行い、文化芸術活動の機会を提供した。各文化振興施設の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行う必要がある。あかね文化ホールの指定管理期間が令和5年3月末までであったため、指定管理者の更新作業を行った。		<改善内容> 各文化振興施設の老朽化が進んでいるため、修繕計画を立て、計画的に修繕を行う必要がある。やわらぎホールの指定管理期間が令和6年3月末までであるため、指定管理者の更新作業を進める。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
					現状維持	○ 財源	
					見直して継続		拡大
					拡大		現状
					縮小		削減
				事業統合 手段見直		人員	
				休止・廃止		拡大	
				完了		現状	
						削減	

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :05生涯にわたり学ぶことができ、学んだことがいかせるまちをつくりまします
- 施策 :04文化芸術の振興

事務事業名
日韓文化交流事業

指標名	美術展覧会の入場者	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	446
指標の目標値	1,304人	算出方法		○継続	ハード	担当課名	生涯学習課
関係法令 市条例等	文化交流協定		関連計画				
事務事業概要	東近江市教育委員会と大韓民国の統營文化院が、平成18年3月16日に締結した「文化交流協定」に基づき、文化、芸術、教育、スポーツの各分野にわたり交流と協力を進めることで、相互理解と国際的視野をもった市民の育成に努めます。						
作成者	中西 恵美子						
			予算	会計名	一般会計		
			大事業コード		030000		
			款項目		100509		

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	1 日韓文化交流事業 大韓民国統營市へ使節団派遣 (先方より派遣要請がなかったため未実施)	1 日韓文化交流事業 大韓民国統營市へ使節団派遣 (先方より派遣要請があった場合)	1 日韓文化交流事業 大韓民国統營市へ使節団受入れ	1 日韓文化交流事業 大韓民国統營市から使節団派遣
指標の年度目標値 事業の優先度 事業の財源 職員数/人件費	1,141人 B 0千円 正 0.04人 会計任 0人 316千円	1,195人 B 0千円 正 0.04人 会計任 0人 287千円	1,250人 (Diagonal line)	1,304人 (Diagonal line)

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	1,057人	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分																								
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 文化芸術の輪を広げ、文化交流を深めることは大切であるが、交流を継続するには、東近江市側の交流に関わる人材不足が課題である。		<改善内容> 新型コロナウイルス感染症の拡大懸念により、海外渡航の制限があったこと等から、使節団の派遣は延期に次ぐ延期との結果になった。先方から連絡があった場合、国際情勢を加味しながら交流ができる取組を検討していく。		<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>○ 財源</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>事業統合 手段見直</td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td>現状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	○ 財源		見直して継続	拡大	拡大	現状	縮小	削減	事業統合 手段見直	人員		休止・廃止	拡大		完了	現状			削減	
	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																										
	現状維持	○ 財源																											
	見直して継続	拡大																											
拡大	現状																												
縮小	削減																												
事業統合 手段見直	人員																												
休止・廃止	拡大																												
完了	現状																												
	削減																												

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :03子どもが健やかに育つことができるまちをつくります
- 施策 :02教育内容の充実

指 標 名	児童・生徒の読書冊数	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト ○ハード	事務事業コード	100		
	指標の目標値		小学校11.3冊 中学校4.7冊 目標年(令和07年度)				算出方法		担当課名
関係法令 市 条 例 等	東近江市教育研究所条例、東近江市教育研究所条例施行規則			関連計画	-	作成者	宮居 伝		
事務事業名 教育研究所運営事業	教育に関わる専門的、技術的事項の研究または教職員の研修の実施により、東近江市に勤務する教職員の資質・指導力・授業力の向上を目指し、市全体の教育力の振興を図ります。						予 算	会計名	一般会計
								大事業コード	040000
						款 項 目	100103		

令和04年度 事務事業実績 / 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度		
	1 教職員研修 ・各種教職員研修開催 ・教育研究所研究発表大会及び教育講演会 2 調査研究 学力向上に資する教科指導力改善の研究と普及 ・授業改善推進委員会による研究 ・研究員による授業改善研究 3 教育研究の支援・奨励 ・研究奨励及び研究レポートの募集 4 啓発事業 ・教育研究所だよりの発行(12回/年) ・教育研究所報「風」発行 5 ICT活用推進 ・ICT推進委員会によるICT活用授業研究 ・ICT活用推進に係る教職員研修 6 社会科郷土学習資料活用研究 ・小学校社会科郷土学習資料集「わたしたちの東近江市」の活用研究 ・ワークシートの活用推進等	1 教職員研修 ・各種教職員研修開催 ・教育研究所研究発表大会及び教育講演会 2 調査研究 学力向上に資する教科指導力改善の研究と普及 ・授業改善推進委員会による研究 ・研究員による授業改善研究 3 教育研究の支援・奨励 ・研究奨励及び研究レポートの募集 4 啓発事業 ・教育研究所だよりの発行(12回/年) ・教育研究所報「風」発行 5 ICT活用推進 ・ICT推進委員会によるICT活用授業研究 ・ICT活用推進に係る教職員研修 6 社会科郷土学習資料活用研究 ・小学校社会科郷土学習資料集「わたしたちの東近江市」の活用研究 ・ワークシートの活用推進等	1 教職員研修 ・各種教職員研修開催 ・教育研究所研究発表大会及び教育講演会 2 調査研究 学力向上に資する教科指導力改善の研究と普及 ・授業改善推進委員会による研究 ・研究員による授業改善研究 3 教育研究の支援・奨励 ・研究奨励及び研究レポートの募集 4 啓発事業 ・教育研究所だよりの発行(12回/年) ・教育研究所報「風」発行 5 ICT活用推進 ・ICT推進委員会によるICT活用授業研究 ・ICT活用推進に係る教職員研修 6 社会科郷土学習資料改訂研究 ・小学校社会科郷土学習資料集「わたしたちの東近江市」の改訂に向けた研究(5訂版に向けた研究) ・ワークシート活用推進等	1 教職員研修 ・各種教職員研修開催 ・教育研究所研究発表大会及び教育講演会 2 調査研究 学力向上に資する教科指導力改善の研究と普及 ・授業改善推進委員会による研究 ・研究員による授業改善研究 3 教育研究の支援・奨励 ・研究奨励及び研究レポートの募集 4 啓発事業 ・教育研究所だよりの発行(12回/年) ・教育研究所報「風」発行 5 ICT活用推進 ・ICT推進委員会によるICT活用授業研究 ・ICT活用推進に係る教職員研修 6 社会科郷土学習資料改訂研究 ・小学校社会科郷土学習資料集「わたしたちの東近江市」の改訂(5訂版完成) ・ワークシート活用推進等		
指標の年度目標値	小学校9.9冊 中学校4.5冊	小学校10.4冊 中学校4.6冊	小学校10.9冊 中学校4.6冊	小学校11.3冊 中学校4.7冊		
事業の優先度	B					
事業の財源	決算額 2,262千円	国庫支出金	0千円	予算額 2,342千円	国庫支出金	0千円
		県支出金	0千円		県支出金	0千円
		市債	0千円		市債	0千円
		その他	0千円		その他	0千円
		一般財源	2,262千円		一般財源	2,342千円
職員数/人件費	正 1人 会計任 1.26人 6,762千円	正 1人 会計任 1.4人 8,692千円				

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	小学校8.5冊 中学校3.2冊	令和05年度の改善の取り組み Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 年間79回の研修講座等を実施し、延べ2,906人の参加、受講後の研修満足度も高い評価となった。これまでの取組方法を根本的に見直し「広がり・浸透」「繰り返し・継続」をキーワードとし「取組のベクトルの統一」「市全体での取組推進の意識化」「アドバイザーからの理論・方策の継続した指導助言」の考えをベースに研修の企画に努めた。前例にとらわれず、研究発表大会の開催時期を夏季休業中に変更し、2学期以降の実践に活かせるよう工夫したり、近隣市町の教職員の参加を呼び掛けた広域研修を開催したりするなどした。	<改善内容> 見直しを加えた授業改善及び研究員研究の取組の推進により、学校現場からのご手ごたえ(具体的実践)を感じつつあるが、今、求められている学力観・授業観の転換に向け、引き続きの努力が必要である。 社会や教育現場の環境は先行き不透明かつ急速に変化をしており、状況を的確に把握するよう努めるとともに、さらに迅速かつ緊張感をもっての取組推進、意図的計画的な人材育成の視点を大切にした取組を図っていくことが求められている。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
			現状維持	財源	令和6年度・7年度に小学校社会科郷土学習資料集「わたしたちの東近江市」の改訂作業を行い、令和7年度に5訂版を発刊するため。
			見直しして継続		
			拡大 ○	現状	
縮小	削減				
事業統合 手段見直し	人員	拡大			
休止・廃止	現状 ○	削減			
完了					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

○基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち

○基本的政策 :07生涯を通じて図書館に親しめるまちをつくります

○施策 :01市民のための図書館づくり

事務事業名
図書館管理運営事業

指標名	図書館実利用率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	93
指標の目標値	20.5%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	図書館
関係法令 市条例等	教育基本法、社会教育法、図書館法			関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市子ども読書活動推進計画		
事務事業概要	自己の学習や子育て支援、地域課題の解決など、生涯にわたる学習に役立つ資料や情報の提供を的確に進めるため、蔵書計画に沿った豊富で魅力的な資料の収集・整備を行い、蔵書の充実を図ることにより、活字文化を大切に、市民が主役となるまちづくりに役立つサービスの展開に努めます。また、将来を担う子どもへのサービスを重視します。				作成者	松野 勝治	
					予算	会計名	一般会計
						大事業コード	020000
						款項目	100505

令和04年度 事務事業実績

令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度																									
<p>主な事業内容 (年次計画)</p> <p>Plan 1 (実績)</p> <p>Do 2</p>																												
<p>1 市内図書館の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 各館の積極的収集コーナーの資料の充実 文化と歴史と伝統を継承し、発展させるための情報提供 <p>2 図書館協議会の開催 2回</p> <p>3 子ども読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の学校図書館支援 地域読書振興活動の担い手育成 読書ボランティアとの協働事業 認定こども園、幼稚園、保育園との連携推進 <p>4 計画的な施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 八日市図書館大規模改修のための設計 	<p>1 市内図書館の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 各館の積極的収集コーナーの資料の充実 文化と歴史と伝統を継承し、発展させるための情報提供 <p>2 図書館協議会の開催</p> <p>3 子ども読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の学校図書館支援 地域読書振興活動の担い手育成 読書ボランティアとの協働事業 認定こども園、幼稚園、保育園との連携推進 <p>4 計画的な施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 八日市図書館空調・外壁等大規模改修工事 能登川図書館空調等改修工事のための設計 	<p>1 市内図書館の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 各館の積極的収集コーナーの資料の充実 文化と歴史と伝統を継承し、発展させるための情報提供 <p>2 図書館協議会の開催</p> <p>3 子ども読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の学校図書館支援 地域読書振興活動の担い手育成 読書ボランティアとの協働事業 認定こども園、幼稚園、保育園との連携推進 <p>4 計画的な施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 能登川図書館空調・外壁・照明改修工事 湖東図書館照明・トイレ改修工事のための設計 	<p>1 市内図書館の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 各館の積極的収集コーナーの資料の充実 文化と歴史と伝統を継承し、発展させるための情報提供 <p>2 図書館協議会の開催</p> <p>3 子ども読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の学校図書館支援 地域読書振興活動の担い手育成 読書ボランティアとの協働事業 認定こども園、幼稚園、保育園との連携推進 <p>4 計画的な施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖東図書館照明・トイレ改修工事 蒲生図書館照明LED化工事 図書館コンピュータシステム更新 																									
指標の年度目標値	18.5%	19.5%	20.5%																									
事業の優先度	B	B																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>104,770千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>157千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>177千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>104,436千円</td></tr> </table>	決算額	104,770千円	国庫支出金	0千円	県支出金	157千円	市債	0千円	その他	177千円	一般財源	104,436千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>366,812千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>237,500千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>39,194千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>90,118千円</td></tr> </table>	予算額	366,812千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	237,500千円	その他	39,194千円	一般財源	90,118千円		
決算額	104,770千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	157千円																											
市債	0千円																											
その他	177千円																											
一般財源	104,436千円																											
予算額	366,812千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	237,500千円																											
その他	39,194千円																											
一般財源	90,118千円																											
職員数/人件費	正 20.92人 会計任 16.88人 176,828千円	正 21.76人 会計任 15.19人 177,790千円																										

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	17.4%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分	
事務事業の改善内容	Check 3	<p><成果・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域読書の担い手育成のための絵本講座や幼児教育センターと連携した先生向け絵本講座を開催 「園の読書環境充実支援事業」継続支援を実施 小冊子「そこら」の編集や特設展示等を通じ他課及び関係団体との連携を推進 高齢者・障害者向けの読書支援環境を拡充(読書支援機器の整備) 児童や高齢者等図書館利用に障害がある人へのきめ細やかな対応とサービスの充実が必要 未利用者への働きかけや図書館サービスのPR強化 老朽化する施設や設備の計画的改修の実施 	<p><改善内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な資料要求や地域課題に対応する継続的な資料整備・充実 実利用率を向上させるための取組の拡充 園・学校・子育て支援関係機関との連携強化(先生やボランティアを対象にした研修、園の読書環境充実継続支援や学校図書館支援など) 市役所他課と連携した効果的な資料・情報提供 長期的な視点に立った計画的な施設改修の実施(八日市図書館大規模改修工事、能登川図書館空調・外壁等改修工事の設計) 	<p>事業の方向性</p> <p>現状維持 ○</p> <p>見直して継続</p> <p>拡大</p> <p>縮小</p> <p>事業統合</p> <p>手段見直</p> <p>休止・廃止</p> <p>完了</p>	<p>資源(財源・人)の配分</p> <p>財源</p> <p>拡大</p> <p>現状 ○</p> <p>削減</p> <p>人員</p> <p>拡大</p> <p>現状 ○</p> <p>削減</p>	<p>事業の方向性と資源の配分の内容</p> <p>計画的な施設の修繕及び改修による事業費増減あり</p> <p>令和5年度 八日市図書館改修工事</p> <p>令和6年度 能登川図書館空調・外壁等改修工事</p> <p>令和7年度 湖東図書館照明・トイレ改修工事</p>

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和05年度 実施計画

令和04年度 事務事業評価

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :07生涯を通じて図書に親しめるまちをつくります

- 施策 :01市民のための図書館づくり

事務事業名
移動図書館事業

指標名	図書館実利用率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	94
指標の目標値	20.5%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	図書館
関係法令 市条例等	教育基本法、社会教育法、図書館法		移動手段を持たない児童・高齢者や山間部・遠隔地など、図書館サービスの行き届いていない地域に均衡のとれたサービスを提供するため、各地域にサービスポイントを設定し、巡回を行うことで読書環境づくりを進めます。	関連計画	東近江市教育振興基本計画、東近江市子ども読書活動推進計画		
事務事業概要					作成者	松野 勝治	
			予算	会計名	一般会計		
				大事業コード	030000		
				款項目	100505		

令和04年度 事務事業実績 / 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	1 移動図書館の運営 配備館：八日市館 ・移動図書館用図書購入 ・「いきいき本の元気便」によるサービスの実施 ・ステーションの特性に応じた積載資料の載せ換え作業 2 移動図書館車の維持管理 軽車両改造型移動図書館車購入 八日市館1台	18.5%		19.5%		20.0%		20.5%
指標の年度目標値 事業の優先度 事業の財源 職員数/人件費	B		B					
	決算額	国庫支出金	0千円	予算額	国庫支出金	0千円		
	4,656千円	県支出金	0千円	703千円	県支出金	0千円		
		市債	0千円		市債	0千円		
		その他	0千円		その他	0千円		
		一般財源	4,656千円		一般財源	703千円		
	正	1.08人	会計任	0人	正	1.24人	会計任	0.01人
			6,897千円				7,948千円	

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	17.4%	令和05年度の改善の取り組み		Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分													
事務事業の改善内容	<成果・課題> ・「ちょっときてえな講座」に登録し、他課と連携した講座と本の貸出をセットにした館外サービスを申込に応じて実施 ・講座内容を知ってもらうための体験イベントを図書館を会場に開催 ・高齢者施設や地域の子育て支援広場など軽車両を活用した新しいサービスポイントの開拓に取り組んだ。 ・効果的に事業を推進するため、積極的な広報・PRを行う必要がある。		<改善内容> ・各地域、各サービスポイントの実情や特性に合わせた柔軟性の高い事業展開を図る。 ・「いきいき本の元気便」のサービスを全地域で展開するために体験会の開催等効果的な広報を行う。 ・より多くの方に利用してもらえるよう、高齢者施設や地域の集いの場などへのPRに努める。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容										
					現状維持	○	財源			<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡大			現状		○	削減		
					拡大														
					現状		○												
削減																			
見直して継続		人員		<table border="1"> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡大			現状		○	削減								
拡大																			
現状		○																	
削減																			
拡大				休止・廃止															
縮小				完了															
事業統合																			
手段見直																			

- 基本目標 :03未来を創造するひとをつくるまち
- 基本的政策 :04子どもの食を支えるまちをつくります

- 施策 :01学校給食の充実

事務事業名
学校給食センター管理運営事業

指 標 名	学校給食地場産農産物利用率	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	307	
指標の目標値	45.0%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	学校給食センタ	
関係法令 市 条 例 等	学校給食法、東近江市学校給食センター条例、学校給食運営委員会規則			関連計画	東近江市学校給食 基本計画、東近江 市地域福祉計画	作成者	上林 昭	
事務事業概要	次代を担う人材の健全な育成のため、安全でバランスの取れた給食を提供するとともに、食育を推進することにより、学校給食の意義・目的及び食についての児童生徒・保護者の理解の深化を図ります。					予 算	会 計 名	一般会計
						大 事 業 コード	020000	
						款 項 目	100603	

令和04年度 事務事業実績 | 令和05年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		1 安全・安心な給食の提供 ・学校給食運営委員会の開催 2回開催 ・献立検討委員会の開催 学期ごとに1回開催 ・物資選定委員会の開催 学期ごとに1回開催 ・衛生管理の徹底（害虫駆除、巡回指導、施設検査、従事職員研修等） ・調理と配送の一括委託 ・施設、器具等の維持補修 2 地産地消の推進 ・物資納入業者登録 ・納入業者に対する地場農産物の利用勧奨 ・動画撮影（農業水産課と協同） 3 食文化への理解 ・郷土食、行事食の提供 4 食育の推進 ・広報紙の発行『おおきくなあれ』4回/年 『いただきます』11回/年 ・啓発（食育動画） ①『一人分の食事の量を知ろう』 ②『魚を食べよう～目指せ魚名人！』 （レシピ動画）給食で人気料理のレシピを紹介 ・給食試食会、親子料理教室（新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止）	1 安全・安心な給食の提供 ・学校給食運営委員会の開催 ・献立検討委員会の開催 ・物資選定委員会の開催 ・衛生管理の徹底（害虫駆除、巡回指導、施設検査、従事職員研修等） ・調理と配送の一括委託 ・施設、器具等の維持補修 2 地産地消の推進 ・物資納入業者登録 ・納入業者に対する地場農産物の利用勧奨 3 食文化への理解 ・郷土食、行事食の提供 4 食育の推進 ・広報紙の発行 ・給食試食会 ・給食展	1 安全・安心な給食の提供 ・学校給食運営委員会の開催 ・献立検討委員会の開催 ・物資選定委員会の開催 ・衛生管理の徹底（害虫駆除、巡回指導、施設検査、従事職員研修等） ・調理と配送の一括委託 ・施設、器具等の維持補修 2 地産地消の推進 ・物資納入業者登録 ・納入業者に対する地場農産物の利用勧奨 3 食文化への理解 ・郷土食、行事食の提供 4 食育の推進 ・広報紙の発行 ・給食試食会 ・給食展
指標の年度目標値	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	1,245,378千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	322千円	
		市債	0千円	
		その他	548,759千円	
一般財源	696,297千円			
職員数/人件費	正 5人 会計任 7人 44,050千円	正 5人 会計任 7人 44,388千円		

評価

改善

方向性

令和04年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	26.3%	令和05年度の改善の取り組み	Action 4	令和06年度以降の事業の方向性と資源の配分
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性
	安全安心な給食を提供するため、衛生管理の向上を図り、安全性を最優先した新食物アレルギー対応により適切な運用を行った。農林水産部に地場産野菜の利用を推進するための情報提供を行ったり、食育動画の作成など協同で取り組んだ。子どもたちが健全な食生活を送れるよう食に関する知識の普及、啓発に努め、食育の推進を図った。学校との連携を図り、未納について早期に対応することにより、給食費の収納率向上に努めた。		安全安心な給食を提供するため、衛生管理の向上を図り、新食物アレルギー対応の指針に基づく運用が適切にできるよう調整する。農業水産課等と連携し、地場産野菜の利用を推進する。子どもたちが健全な食生活を送れるよう食に関する知識の普及、啓発に努め、食育の推進を図る。給食費の収納率向上に努め、適正な債権の管理を行う。		現状維持
					見直しして継続
					拡大
					縮小
				事業統合	
				手段見直し	
				休止・廃止	
				完了	
				資源(財源・人)の配分	
				財源	
				拡大	
				現状	
				削減	
				人員	
				拡大	
				現状	
				削減	
				事業の方向性と資源の配分の内容	